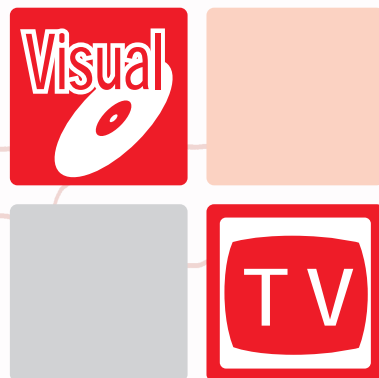
Empowered by Innovation

パソコンでTVを楽しむなら

TVモデルガイド

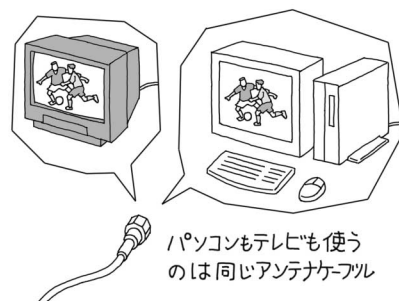
Visual

TV

VALUESTAR

簡単にテレビを見ることから、
パソコンならではの便利な機能、録画や再生、映像編集まで！
パソコンでテレビの楽しみ方が変わります！

パソコンがテレビになる！

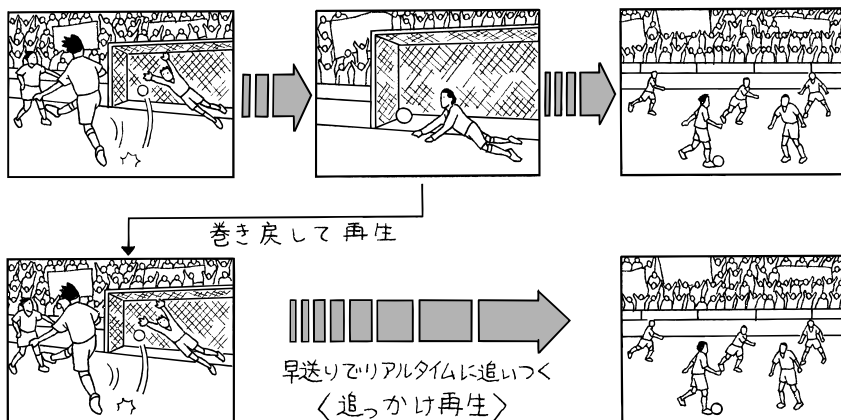
●使うケーブルは、テレビと同じ

「パソコンでテレビを見る」と言っても、基本はふつうのテレビと同じ。使うケーブルも、テレビと同じアンテナケーブルです。パソコンにアンテナケーブルを接続して、ソフトの設定をすればパソコンならではの方法でテレビを楽しめます。
アンテナ端子がひとつしかない部屋で、パソコンとテレビの両方にアンテナを接続したいときは、PART1の「こんなときは」（p.2）をご覧ください。

パソコンならでは！便利な機能

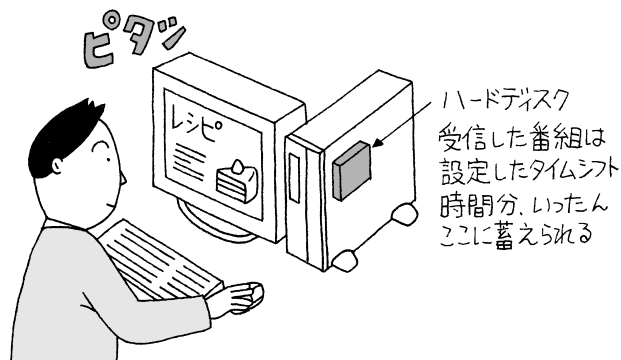
●タイムシフトモードとライブモード

テレビを見ているときに、決定的な瞬間を見逃してしまった！そんな経験は、誰でもあるもの。もし番組をビデオに録っていれば、後で見ることができるけれど、そうでなければあきらめるしかありませんでした。
でも、パソコンでテレビを見ていれば、テレビを見ながらビデオのように巻き戻しや一時停止をすることができます。

巻き戻して再生

早送りでリアルタイムに追いつく
〈追っかけ再生〉

生放送のサッカー観戦。決定的瞬間のゴールシーン。もう一度見たいと思ったら、すかさず巻き戻して見てしまいましょう。見た後は、再生スピードを少し速めればリアルタイムに追いつけます。

この機能を、「タイムシフト」、タイムシフトが使えるモードを「タイムシフトモード」と言います。
タイムシフトを使えば、決定的な瞬間を見逃してももう大丈夫。
一方、タイムシフトを使わずにふつうにテレビを見るモードを「ライブモード」と言います。
ライブモードでは、巻き戻しや一時停止は使えませんが、パソコンの負担が軽くなります。また、ライブモードでは字幕放送を楽しめます。
二つのモードの特長を活かして使い分けることで、テレビをもっと楽しめます。

●タイムシフトモードの特長
タイムシフトモードで番組を受信すると、番組データは、いったんパソコンのハードディスクに保存されます。それをパソコンの画面に表示しているので、「一時停止」「再生」「巻き戻し」「早送り」ができるというわけです。
そして、見ている番組を巻き戻して「録画」することもできます。
また、書き込みと再生が同時にできるハードディスクの特長を活かして、録画しながら、すでに録画したシーンを再生したり、巻き戻したり、早送りできます。また、早送りしてリアルタイムに追いつくこともできます。

●一時停止（→ p.31）
ふつうのテレビでは、そのとき放送されている番組を受信して見るだけですが、パソコンのテレビでは、一時停止可能。もちろん、停止している間に放送されているシーンもハードディスクにちゃんと書き込まれているから、そのつづきからすべて見られます。

●巻き戻し（→ p.31、p.46）
録画していなくても、見ていたシーンをもう一度見たい、というときは巻き戻せます。巻き戻している間に放送されていたシーンも含めて、そのまま続きを見たり、巻き戻したところからの録画も可能です。

●早送り / 追っかけ再生（→ p.31）
見ている番組を巻き戻して、そのシーンを見た後は、早送りしてリアルタイムの放送に追いつくことも可能です。たとえば、ニュース番組などを録画中に、放送の途中で番組の残り分を録画し続けながら、番組の冒頭に巻き戻し、早送り再生で必要なシーンだけを見て、リアルタイムに追いつくという見方もできます。これからのテレビの使い方に加えてみてはいかがでしょう。

いろんな機能で録画も簡単、便利に！

●番組表で簡単予約

ソフトの設定が終わっていれば、録画予約も簡単。このパソコンでは、テレビ放送からテレビの番組表を受信して、表示できます。また、番組表で録画したい番組をダブルクリックすれば、その番組を予約する画面が表示されるので、録画予約も簡単。
他にも、見たいジャンルの番組を探したり、好きなタレントの出ている番組を探して録画予約できます。
録画予約について詳しくは、「PART4 視聴／録画予約する」をご覧ください。

外出先から録画予約

外出先で、ビデオの予約を忘れたことに気がついた。急な用事で家に帰るのが遅れて、見たい番組が見られなかった。そんな経験はありませんか？
このパソコンと、他のサービスを組み合わせれば、外出先のパソコンや携帯電話から家のパソコンへ録画予約ができます。
詳しくは、PART4 の「外出先から録画予約する」をご覧ください。

SmartVision TV録画予約サービスクライアント
（ドット・ゲートサービス用）

SmartVision TV録画予約サービスクライアント
（BIGLOBE 用）

録った番組を編集、保存

SmartVision
（簡易編集機能）

VideoStudio

DVD MovieWriter

DVD-MovieAlbum
（添付モデルのみ）

普通のビデオに録画した番組を、自分好みに編集するのは大変。でも、このパソコンで録画したテレビ番組は、このパソコンに入っているソフトで、いらない場面を切ったりして長さをかえたり、いろいろな効果をつけたり、自由に編集ができます。
編集した番組は、「DVD MovieWriter」で、CD-R/RWやDVD-R/RWに保存することもできます。
自分だけのビデオライブラリを作ってみましょう。

チェック!!

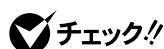
あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

この本には、SmartVisionを使って、地上波のテレビ放送を見る方法が記載されています。

このマニュアルの表記について

◆本文中の画面、ホームページ

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面とは多少異なることがあります。本文中に使用しているホームページは、実際にご覧になるものと異なる場合があります。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。

パソコンで起きている問題点に対する対処方法を示しています。対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものをさがしてください。

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

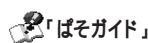
【 】

【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

CD/DVDドライブ

CD-R/RW with DVD-ROMモデルでは、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのことを指します。
DVD-R/RWモデルでは、DVD-R/RWドライブのことを指します。
DVD-RAM/R/RWモデルでは、DVD-RAM/R/RWドライブのことを指します。
DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデルでは、DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブのことを指します。

プリンタ、コネクタなど

「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

「ぱそガイド」

電子マニュアル「ぱそガイド」を起動して、各項目を参照することを示します。「ぱそガイド」はデスクトップのをダブルクリックして起動します。

「ぱそガイド」－「アプリケーションの紹介と説明」

「ぱそガイド」を起動して、アプリケーションの操作方法などを参照することを示します。アプリケーションの名称がなどがわかっている場合は、続けて「50音別目次」をクリックして該当する項目をご覧ください。

◆このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン　表の各モデル（機種）を指します。

液晶ディスプレイセットモデル　液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。

液晶ディスプレイ一体型モデル　液晶ディスプレイと本体が一体になっているモデルのことです。

DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブ　DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。

CD-R/RW with DVD-ROMモデル　CD-R/RW with DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。

DVD-RAM/R/RW モデル　DVD-RAM/R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。

DVD-R/RWモデル　DVD-R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。

CD-R/RWモデル　CD-R/RWドライブを搭載しているモデルのことです。

TVモデル　テレビ/地上波データ放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。

BSモデル　BS・110度CSデジタルチューナボードを搭載しているモデルのことです。テレビ／地上波データ放送のほかに、BS・110度CSデジタル放送を楽しむことができます。

<table>
<tr><th rowspan="2">型名</th><th rowspan="2">型番</th><th colspan="4">表記の区分</th></tr>
<tr><th>CD/DVDドライブ</th><th>ディスプレイ</th><th>TV機能</th><th>シリーズ</th></tr>
<tr><td>VX900/6F</td><td>PC-VX9006F</td><td rowspan="2">DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW ドライブ</td><td>液晶ディスプレイセットモデル（17 型液晶）</td><td rowspan="3">TV モデル（リモコン添付）</td><td rowspan="2">VALUESTAR TX シリーズ</td></tr>
<tr><td>VX100/6F</td><td>PC-VX1006F</td><td>—</td></tr>
<tr><td>VZ700/6F</td><td>PC-VZ7006F</td><td>DVD-RAM/R/RW モデル</td><td>液晶ディスプレイセットモデル（17 型液晶）</td><td>VALUESTAR FZ シリーズ</td></tr>
<tr><td>VT970/6D</td><td>PC-VT9706D</td><td>DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RW ドライブ</td><td rowspan="2">液晶ディスプレイセットモデル（TV チューナ内蔵 17.5 型ワイド液晶）</td><td>BS モデル
TV モデル
（リモコン添付）</td><td rowspan="3">VALUESTAR T シリーズ</td></tr>
<tr><td>VT900/6D</td><td>PC-VT9006D</td><td rowspan="2">DVD-RAM/R/RW モデル</td><td rowspan="9">TV モデル（リモコン添付）</td></tr>
<tr><td>VT700/6D</td><td>PC-VT7006D</td><td>液晶ディスプレイセットモデル（17 型ワイド液晶）</td></tr>
<tr><td>VL700/6D</td><td>PC-VL7006D</td><td rowspan="2">DVD-R/RW モデル</td><td>液晶ディスプレイセットモデル（TV チューナ内蔵 17.5 型ワイド液晶）</td><td rowspan="2">VALUESTAR L シリーズ</td></tr>
<tr><td>VL570/6D</td><td>PC-VL5706D</td><td>液晶ディスプレイセットモデル（17 型液晶）</td></tr>
<tr><td>VF700/6D</td><td>PC-VF7006D</td><td rowspan="5">DVD-RAM/R/RW モデル</td><td>液晶ディスプレイセットモデル（17 型ワイド液晶）</td><td rowspan="2">VALUESTAR F シリーズ</td></tr>
<tr><td>VF500/6D</td><td>PC-VF5006D</td><td>液晶ディスプレイセットモデル（15 型液晶）</td></tr>
<tr><td>VS700/6DB</td><td>PC-VS7006DB</td><td rowspan="3">液晶ディスプレイ一体型モデル（17 型ワイド液晶）</td><td rowspan="3">VALUESTAR FS シリーズ</td></tr>
<tr><td>VS500/6DA</td><td>PC-VS5006DA</td></tr>
<tr><td>VS500/6DB</td><td>PC-VS5006DB</td></tr>
</table>

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 1またはMicrosoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 1
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0 Service Pack 1
VideoStudio	Ulead® VideoStudio® 6 SE Basic
DVD MovieWriter	Ulead® DVD MovieWriter™ for NEC Ver.2
DVD-MovieAlbum	DVD-MovieAlbumSE Ver3.0
WinDVD 4	InterVideo® WinDVD® 4 for NEC
RecordNow DX	VERITAS RecordNow DX

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
（2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
（4）当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、（3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
（5）本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
（6）海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
（7）本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® XP HomeEditionまたはMicrosoft® Windows® XP Professional、および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROMは、本機のみでご使用ください。
（8）ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
（9）あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■ Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd.

853-810601-107-A
2003年5月 初版

目 次
CONTENTS

目　次
CONTENTS

PART

1

接続と準備をする

まずアンテナの接続をしましょう。ご家庭のアンテナ線の形状に合わせて取り付け方が異なります。このPARTをご覧になりながら、パソコンでテレビを見る準備をしてください。

アンテナ線を接続する

テレビや地上波データ放送を見る準備をします。アンテナに接続されているケーブルにF型コネクタプラグ（別売）を取り付けます。

チェック!!

CATV ホームターミナルを使ってテレビを見る場合は、付録の「CATV放送を見る」（p.130）をご覧ください。

用意するもの

いまお使いのアンテナ線の形状によって必要なものが異なります。
市販のF型コネクタプラグ、または市販のF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルでパソコン本体と接続します。

F型コネクタプラグ

F型コネクタプラグ付きアンテナケーブル

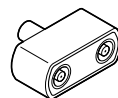
このほか、アンテナ線の状態によっては、U/V混合器や分配器が必要になります。
お使いのアンテナ線の状態に合わせて、適したものをお買い求めください。

チェック!!

F型コネクタプラグやF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルは、このパソコンには添付されていません。

こんなときは

アンテナ線をパソコン本体とテレビ（またはビデオ）の両方に接続したい

市販の分配器を使えば、アンテナ線を2つにできます。分配したあとで、市販のF型コネクタプラグの付いた同軸ケーブルで、パソコンと接続してください。

分配器

チェック!!

テレビをつなぐなど、アンテナを分配すると、電波が弱くなります。このため、ディスプレイの画面がちらついたり、きれいに映らないことがあります。この場合は、市販のアンテナブースターを接続してください。詳しくはお近くの電器店などにご相談ください。

アンテナ線をパソコン本体とTVチューナ内蔵のディスプレイの両方に接続したい

TVチューナ内蔵液晶ディスプレイセットモデルでは、液晶ディスプレイを普通のテレビとして使うこともできます。その場合、液晶ディスプレイのアンテナ出力端子とこのパソコンのアンテナ入力端子をディスプレイに添付のアンテナケーブルで接続します。

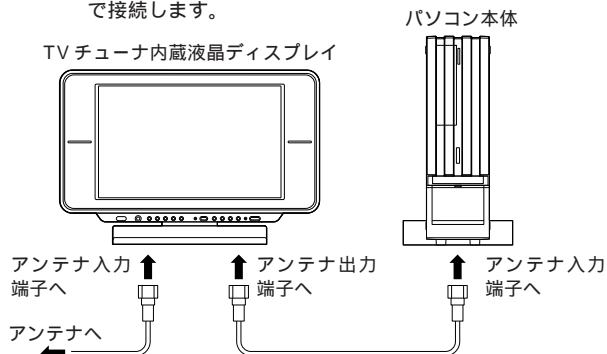
パソコン本体

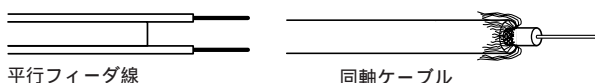
TVチューナ内蔵液晶ディスプレイ

アンテナ入力端子へ

アンテナ出力端子へ

アンテナ入力端子へ

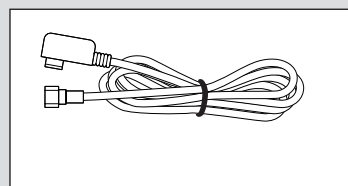
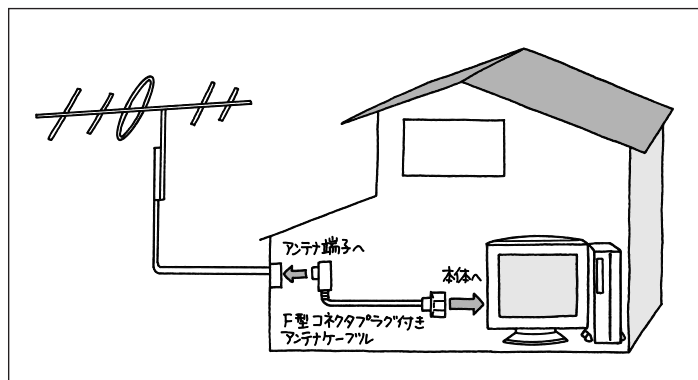
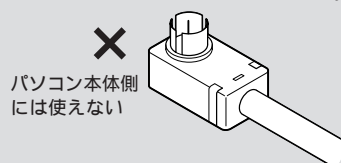
アンテナへ

アンテナ線に平行フィーダを使っている

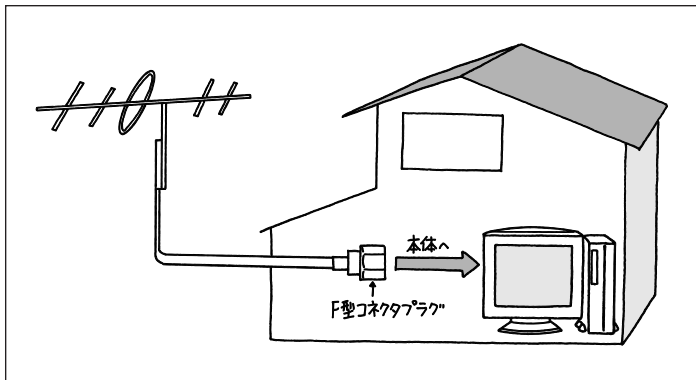
アンテナ線が平行フィーダの場合は、市販の整合器を使用して、同軸ケーブルに変更してください。
詳しくは、お近くの電器店などにご相談ください。

> 参照
>
> 液晶ディスプレイ側のアンテナ接続については、液晶ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

アンテナ線の種類を確認する

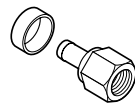
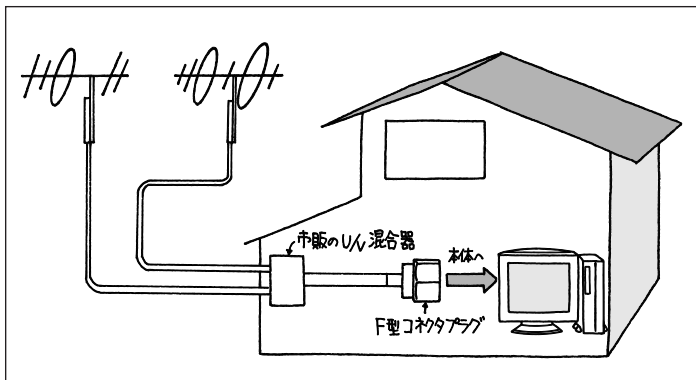
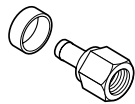
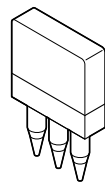
いまお使いのアンテナ線はどうなっていますか？

●壁面などにアンテナ端子があるとき⇒F型コネクタプラグ付アンテナケーブル

マンションなどで、壁面にアンテナ端子だけがある場合は、別にアンテナケーブルをお買い求めいただくことになります。ケーブルにF型コネクタプラグのついた同軸ケーブルをお買い求めください。本体側にF型コネクタプラグの付いた方を接続します。
壁側の端子とそれに適合するプラグの形状にはいくつかのタイプがありますので、お近くの電器店などにご相談ください。

> チェック!!
>
> アンテナケーブルには左図のように一方のプラグの形状が箱型になっているものもあります。その場合は、次のように接続してください。
>
> ・箱型→壁の端子
> ・F型→パソコン本体
>
> 箱型をしたプラグをパソコン側のコネクタに使用すると、ノイズの影響を受けやすくなり、データ放送を正常に受信できないことがあります。

●アンテナ線が１本（UHFのみまたはVHFのみか、UHF/VHF混合）のとき⇒F型コネクタプラグ

アンテナ線の先端にF型コネクタプラグを取り付けてパソコン本体につなぎます。
（F型コネクタプラグの取り付け方について→次ページ）

F型コネクタプラグ

●アンテナ線が２本（UHFとVHF）のとき⇒F型コネクタプラグ、U/V混合器

市販のU/V混合器を取り付けてケーブルを１本にします。そしてケーブルの先端にF型コネクタプラグを取り付けてパソコン本体につなぎます。
（F型コネクタプラグの取り付け方について→次ページ）

F型コネクタプラグ
U/V混合器

U/V混合器とその取り付け方についてはお近くの電器店などにご相談ください。

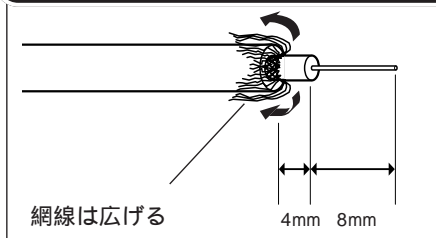
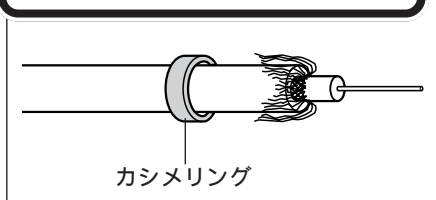
ケーブルにＦ型コネクタプラグを取り付ける

あらかじめ、市販のF型コネクタプラグと、お手持ちのカッター、ペンチを用意してください。
F型コネクタプラグは、ケーブルの太さにあったものをお買い求めください。

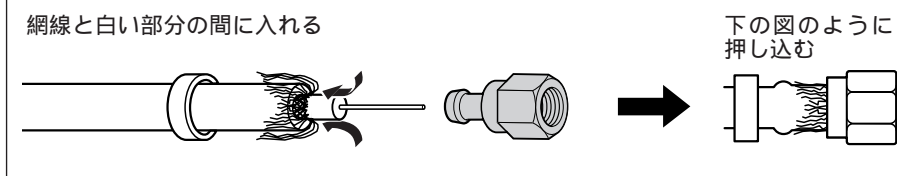
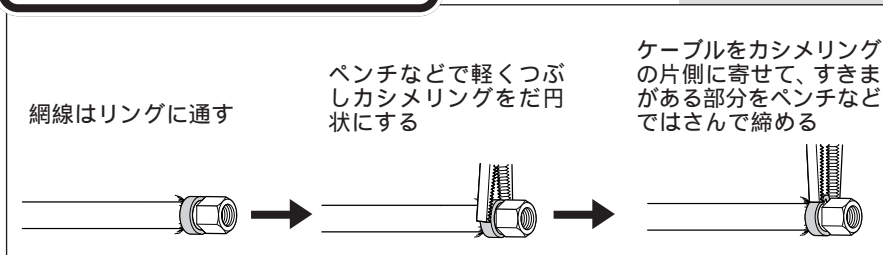
網線の端を少し切っておくと、あとでケーブルにカシメリングを通す際に作業しやすくなります。

金属線は折れやすいので、カッターで傷つけたり、曲げないように注意してください。

カシメリングは、F型コネクタプラグが抜けないよう締めるためのものです。

1 アンテナ線の先を持ち、カッターを使って、およそ次のような寸法にケーブルを加工する

2 カシメリングをケーブルに通す

3 Ｆ型コネクタプラグを図のようにケーブルに押し込む

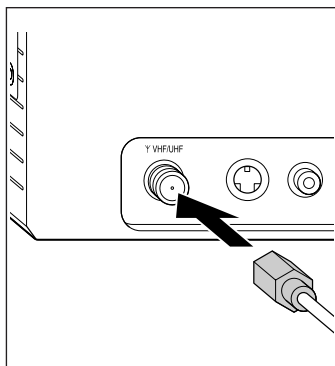
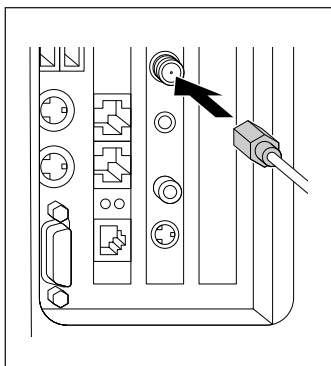
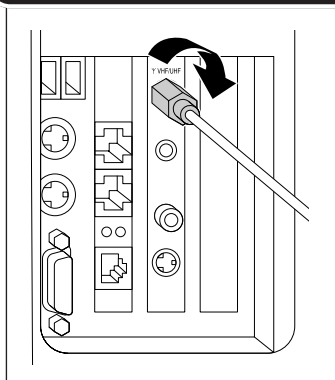
網線と白い部分の間に入れる

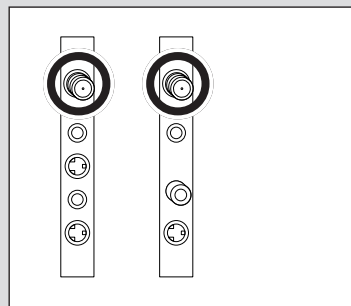
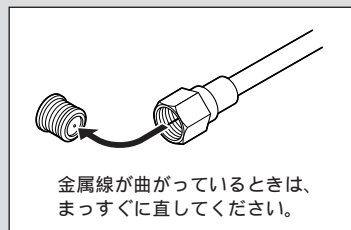
下の図のように押し込む

4 カシメリングをＦ型コネクタプラグの付け根に固定する

5 カシメリングからはみ出した網線を、カッターなどで切り取る

アンテナ線を本体につなぐ

アンテナ線をパソコン本体に接続します。

1 **本体背面の「Y VHF/UHF」と書かれているコネクタにアンテナ線のF型コネクタプラグを差し込む**

液晶ディスプレイ一体型モデル

その他のモデル

2 **F型コネクタプラグの先端のネジを右へ回し、止まるまでしっかり固定する**

チェック!!

- アンテナ線を接続する前にパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源ケーブルを取り外してください。
- お使いのモデルによって、本体の形状は異なります。
- お使いのモデルによって、地上波TV＆データボードのコネクタの数は異なります。必ず、いちばん上にあるYVHF/UHF アンテナ端子に接続してください。

コネクタ中心部の小さな穴に、F型コネクタプラグの中心にある金属線を差し込んでください。

金属線は折れやすいので、ていねいに扱ってください。

Windows のパスワードを設定する

SmartVision の録画予約機能を利用するために、ユーザーアカウントのパスワードを設定します。また、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワード確認の画面を表示しないように設定を変更する必要があります。

● Windows のログオン時のパスワードを設定する

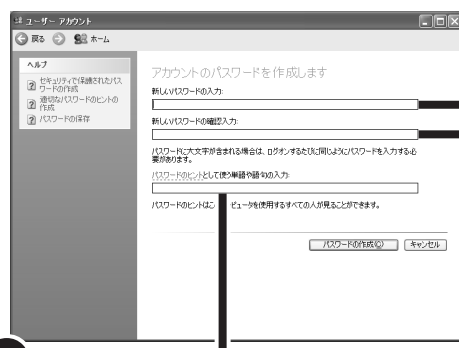
すでに設定している場合は、この操作は不要ですので、「スタンバイからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する」(p.8)に進んでください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

2 「ユーザー アカウント」をクリックする

3 パスワードを設定するアカウント(ユーザー名)をクリックする

4 「パスワードを作成する」をクリックする

↓ ユーザーアカウント画面が表示される

5 パスワードを入力する

6 手順5で入力したパスワードと同じパスワードを入力する

7 必要に応じて、パスワードを思い出すときにヒントになる単語や語句を入力する

チェック!!

複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合、すべてのユーザーについてこの設定を行ってください。

8 「パスワードの作成」をクリックする

9 「ファイルやフォルダを個人用にしますか？」と表示されたら「はい、個人用にします」をクリックする

10 「ユーザー アカウント」の画面を閉じる

●スタンバイからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する

この設定を変更する場合は、あらかじめパソコン起動時に、コンピュータの管理者の権限をもったユーザーでログオンしてください。制限付きアカウントのユーザーでは設定を変更できません。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

2 「パフォーマンスとメンテナンス」をクリックする

3 「電源オプション」をクリックする

↓ 電源オプションのプロパティ画面が表示される

4 「詳細設定」タブをクリックする

↓ 詳細設定画面が表示される

SmartVisionの設定ウィンドウで「ログオンパスワード」を入力するとき、ここで作成したパスワードの入力が求められます（p.21）。
パスワードが間違っていると、録画予約などの機能が使えません。必要であれば、忘れないようにメモしておいてください。メモしたパスワードは、ほかの人に知られないように保管してください。

制限ユーザーまたはゲストアカウントでログオンしている場合は、手順5で設定を変更できません。管理者権限を持ったユーザーでログオンしたときに設定をオフにしていれば、この設定が有効になります。

●スクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されないように設定する

スクリーンセーバーを表示する設定になっている場合は、次の手順で、復帰時にパスワードの確認画面が表示されないようにしてください。

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリックする

2 「デスクトップの表示とテーマ」をクリックする

3 「スクリーンセーバーを選択する」をクリックする

画面のプロパティが表示される

4 ☑（オン）になっている場合は、クリックして☐（オフ）にする

5 「OK」をクリックする

6 「デスクトップの表示とテーマ」を閉じる

チェック!!

パソコンを複数のユーザーでお使いの場合は、「パスワードによる保護」が「再開時にようこそ画面に戻る」となっています。同じように、オフにしてください。

テレビを見るための準備をする

アンテナの接続が完了したら、SmartVisionで番組を見るための準備をします。

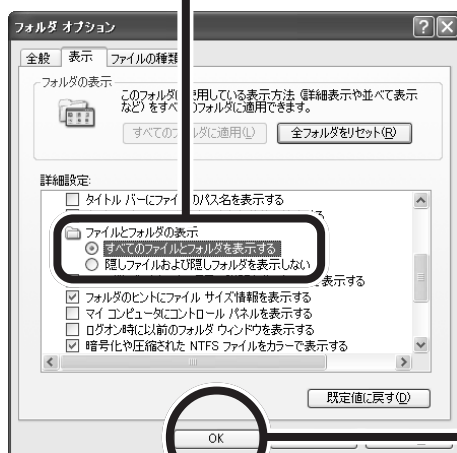
Norton AntiVirus の設定を変更する

SmartVision の映像を快適に見られるようにするために、Norton AntiVirus の設定を変更します。

●フォルダの表示を変更する

1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「デスクトップの表示とテーマ」-「フォルダオプション」をクリックする**
「フォルダオプション」画面が表示されます。

2 **「表示」タブをクリックする**

3 **「詳細設定」の「ファイルとフォルダの表示」で、「すべてのファイルとフォルダを表示する」をクリックして ◉ にする**

4 **「OK」をクリックする**

5 **「デスクトップの表示とテーマ」を閉じる**

✔チェック!!
複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合、この操作はコンピュータの管理者の権限を持ったユーザーで行ってください（制限ユーザーでは設定できません）。
なお、ひとりのユーザーで操作をすれば、すべてのユーザーに適用されます（Guest アカウントでの動作は保証していません）。

設定を変更しない場合は、SmartVision を起動する前に次の設定をしてください。
画面右下の通知領域に表示されているを右クリックして、表示されるメニューから「Auto-Protect を無効にする」をクリックしてください。

SmartVision を終了したら、再度を右クリックして、表示されるメニューから「Auto-Protect を有効にする」をクリックしてください。

● Norton AntiVirus の設定を変更する

1 「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「メール・インターネット」-「トラブル防止・回避」-「Norton AntiVirus」-「このソフトを使う」をクリックする

Norton AntiVirus が起動します。

2 オプション(O) をクリックする

3 「手動スキャン」をクリックし、「除外」をクリックする

4 「新規」をクリックする

チェック!!

Norton AntiVirus をはじめて起動したときは、「Norton AntiVirus 情報ウィザード」の画面が表示されます。手順１の画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作してください。この部分についての詳しい手順は、「ぱそガイド」または、Norton AntiVirusのヘルプをご覧ください。

5 をクリックする

6 「フォルダの参照」画面で、「マイコンピュータ」-「Windows XP (C:)」-「Program Files」-「NEC」-「SmartVision」を指定して「OK」をクリックする

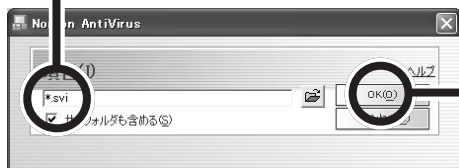
7 「サブフォルダも含める」が☑になっていることを確認して「OK」をクリックする

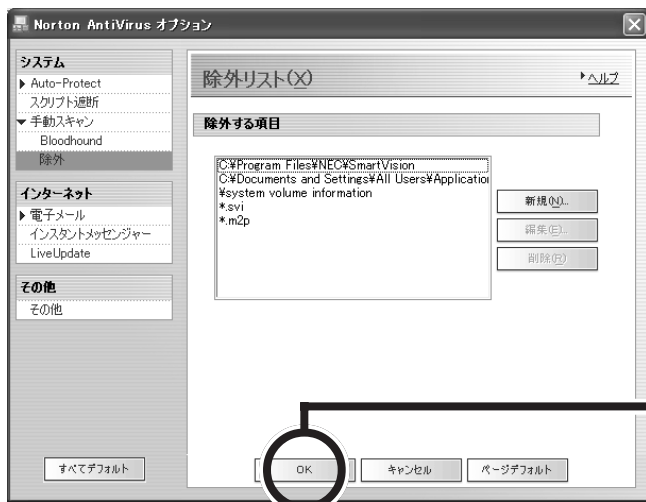
8 手順 4 〜 7 を繰り返して、同じように「マイコンピュータ」-「Windows XP (C:)」-「Documents and Settings」-「All Users」-「Application Data」-「NEC」-「SmartVision」を除外する項目に追加する

9 「新規」をクリックする

チェック!!

以降の手順でも、この画面で「サブフォルダも含める」が☑になっていることを確認してください。

10 入力欄をクリックしてカーソル(|)を表示し、キーボードから「*.svi」と入力する

11 「OK」をクリックする

12 手順 9 を繰り返し、同じようにキーボードから「*.m2p」と入力して「OK」をクリックする

13 「OK」をクリックする

14 Norton AntiVirus の画面を閉じる

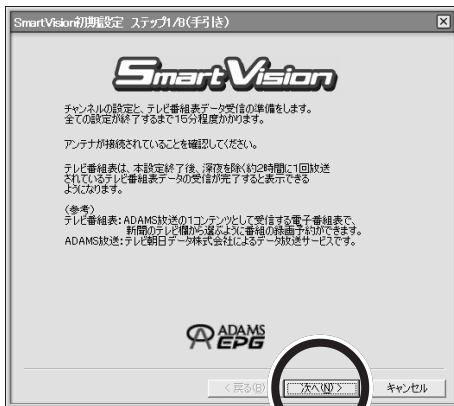
これで設定を変更できました。

チャンネルと番組表の設定をする

はじめてSmartVisionを起動すると、SmartVisionを使うために必要な設定をするSmartVision初期設定ウィザードが表示されます。画面に表示される質問に答えながら、受信するチャンネルの設定をしたり、地上波からの時刻情報を受信してこのパソコンの時刻を調整したり、番組表を定期的に受信する設定を行います。

●設定をはじめる

1 「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「テレビ・ビデオ」-「SmartVision」-「このソフトを使う」をクリックする

SmartVision 初期設定
ステップ1/8の画面が表示される

2 画面を読んで「次へ」をクリックする

ステップ2/8の画面が表示される

チェック!!

SmartVision初期設定ウィザードでの設定は、必ずコンピュータの管理者の権限を持ったユーザーで行ってください。

チェック!!

- 引越し等で、お住まいの地域の放送局が変わったときは、「チャンネル設定ユーティリティで設定する」(p.22)をご覧になり、チャンネル等を設定しなおしてください。
- 次のようなときにもチャンネル等の設定が必要です。
  - SmartVisionを再インストールした後
  - パソコンを再セットアップした後

オートチューニングが完了すると、次の画面が表示される

次の「地上波の設定をする」に進んでください。

チェック!!

チャンネルの設定がうまくいかなかった場合は、「チャンネル設定ユーティリティで設定する」(p.22)をご覧になり、チャンネルの設定を行ってください。

●地上波の設定をする

ここで受信できるチャンネルがすべて設定されていて、CATV（ケーブルテレビ）の設定が必要ない場合は、「次へ」をクリックして「番組表受信の設定をする」（p.19）に進んでください。

チャンネルの設定がうまくいかなかったときは手動でチャンネルを設定します。

●地上波のチャンネルを手動で設定する

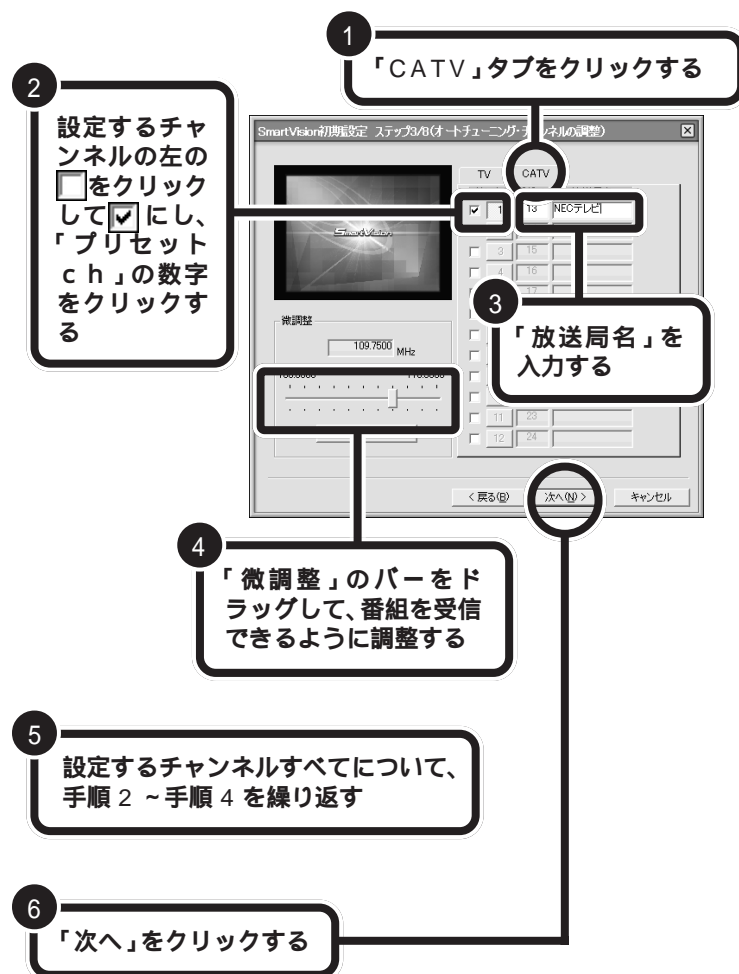
これで、地上波の設定は終了です。
次にCATV（ケーブルテレビ）のチャンネルを設定します。CATVの設定が必要ない場合は、「次へ」をクリックして「番組表受信の設定をする」（p.19）に進んでください。

チェック!!

ADAMS放送は地上波テレビを利用してデジタルデータを配信するデータ多重放送のことで、番組表はADAMS放送で配信されます。ADAMS放送のチャンネルはお住まいの地域によって異なります。
各地域のADAMS放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです（2003年4月現在）。

放送局	
北海道テレビ放送	朝日放送(ABCテレビ)
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
名古屋テレビ	テレビ朝日

● CATV（ケーブルテレビ）の設定をする

CATVをお使いの場合、CATVのチャンネルを設定します。

これで、設定は終了です。
ステップ4/8の画面が表示されます。次の「番組表受信の設定をする」に進んでください。

チェック!!

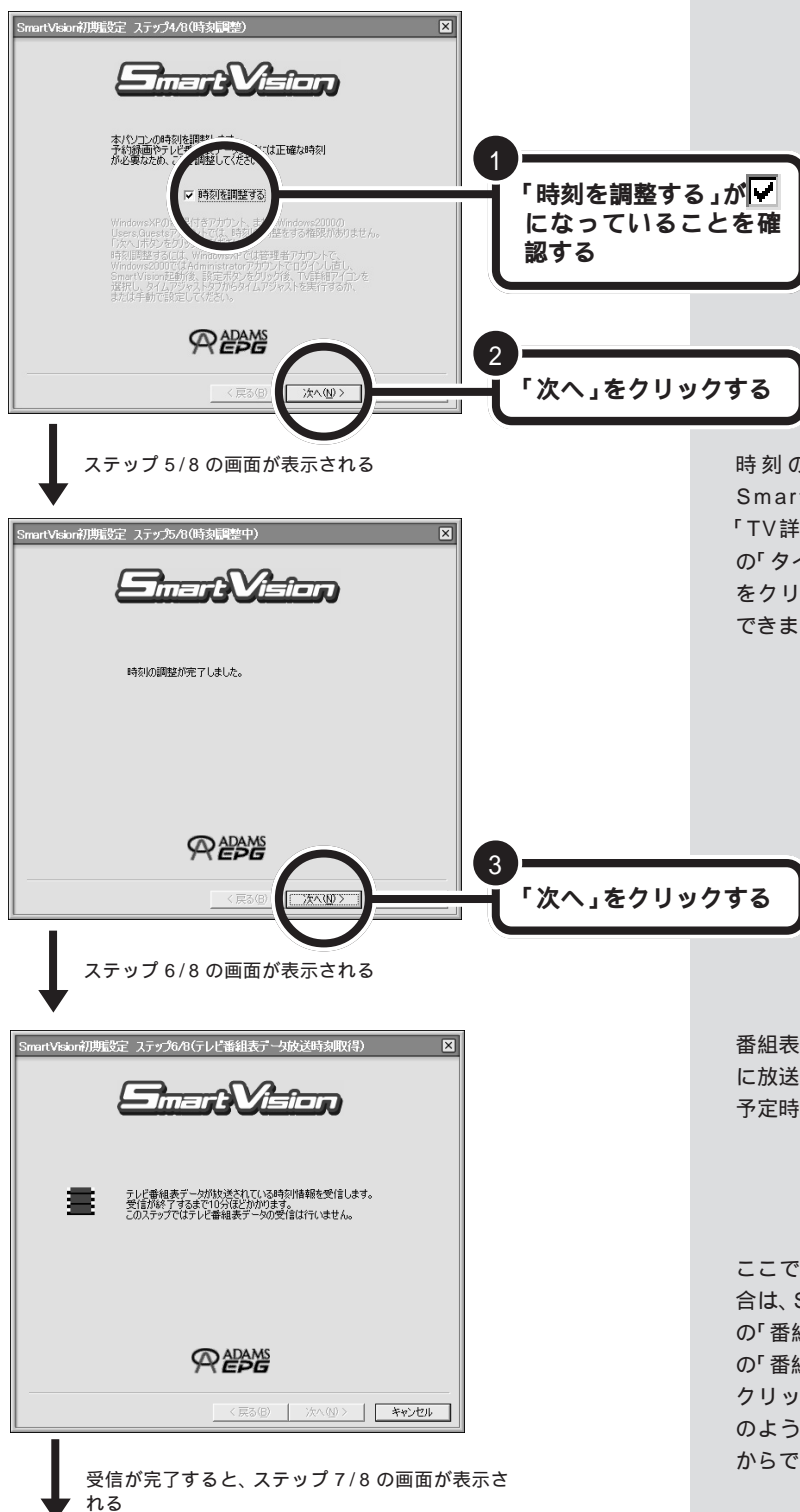
- ＣＡＴＶ番組の視聴方法は、各CATV会社によって異なります。視聴に、別途ホームターミナル等の装置が必要となる場合もあります。ホームターミナル等の装置がなくても受信できるチャンネルがあるかどうかなど詳しくは、各ＣＡＴＶ会社にお問い合わせいただき、TVチューナー経由で視聴可能なチャンネルを確認してからチャンネル設定を行ってください。
- CATV番組の放送局については、各CATV会社より届けられているＣＡＴＶ番組表等をご覧ください。
- CATVホームターミナルを接続してテレビを見る場合は、付録の「CATV放送を見る」(p.130)をご覧ください。

●番組表受信の設定をする

しばらくすると、次の画面が表示されます。

ステップ 5/8 の画面が表示される

ステップ 6/8 の画面が表示される

受信が完了すると、ステップ 7/8 の画面が表示される

時刻の調整に失敗したときは、SmartVisionの設定ウィンドウの「TV詳細」-「タイムアジャスト」タブの「タイムアジャストの実行」ボタンをクリックすると、後からでも調整できます。

番組表は、約 2 時間おき（夜間除く）に放送されます。ここでは、その放送予定時刻を受信します。

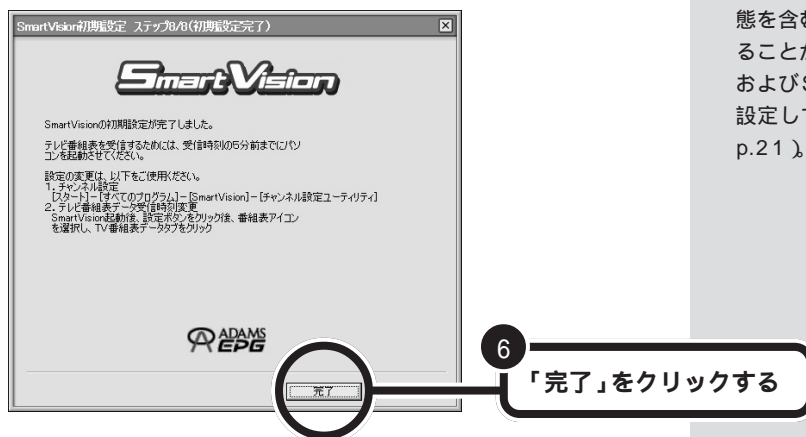
ここで受信時刻の取得に失敗した場合は、SmartVision設定ウィンドウの「番組表」-「TV番組表データ」タブの「番組表放送時刻の取得」ボタンをクリックすると、次ページの手順 4 のような画面が表示されるので、後からでも同じ方法で設定できます。

4 受信したい時刻を選択する

番組表は、画面に表示されている時間にのみ取得できます。設定が終わっても、取得するまでは番組表は表示されません。現在時刻より後の一番近い時刻を含めて選択することをおすすめします。

5 「次へ」をクリックする

ステップ 8/8 の画面が表示される

ここで設定を行ったユーザー以外でも、受信 5 分前にログオン（省電力状態を含む）していれば番組表を受信することができます。ただし、Windows および SmartVision のパスワードを設定しておく必要があります（p.7、p.21）。

6 「完了」をクリックする

SmartVision が起動します。

はじめて起動したときには、次の画面が表示されます。

「次回起動時、このダイアログを表示しない。」をクリックして☑にして、「OK」をクリックしてください。

以上で、SmartVision の初期設定が終わりました。

設定した時刻になると、自動的に番組表の情報を受信します。受信を開始すると画面右下の通知領域のアイコンがアイコンに点滅します。受信が終了すると元のアイコンに戻ります。

「スタート」-「終了オプション」で「スタンバイ」または「休止状態」を選択して、パソコンを省電力状態にしても受信時刻になると自動的に番組表を受信します。

SmartVisionにパスワードを設定する

SmartVisionで番組の視聴/録画予約をするには、Windowsで設定しているログオンパスワード（p.7）と同じパスワードを設定しておく必要があります。

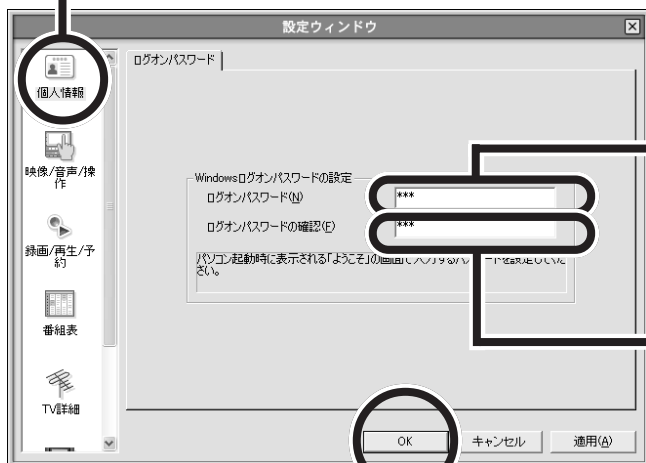
1
（設定）をクリックする

2 設定ウィンドウの「個人情報」アイコンをクリックする

3 「ログオンパスワード」の入力欄に、p.7で設定したユーザーアカウントのパスワードを入力する

4 「ログオンパスワードの確認」の欄に、もう一度同じパスワードを入力する

5 「OK」をクリックする

以上で、テレビを見るための準備ができました。

チェック!!

設定ボタンは、ノーマルモードまたは、アドバンストモード時に表示されます。画面モードの変更は、「画面を切り替える」（p.27）をご覧ください。
複数のユーザーを設定してこのパソコンをお使いの場合、すべてのユーザーについてこの設定を行ってください。

次の画面が表示されたら「OK」をクリックしてください。

チャンネル設定ユーティリティで設定する

「チャンネルと番組表の設定をする」の手順で、チャンネルの設定ができなかったときや、引っ越しをしてチャンネルの設定を変える必要があるときは、「チャンネル設定ユーティリティ」で設定します。

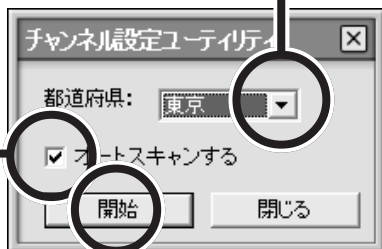
番組表に表示するチャンネルを変更したいときは、SmartVision 設定ウィンドウの「番組表」-「TV 表示チャンネル」タブで設定します。

設定する

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「チャンネル設定ユーティリティ」をクリックする

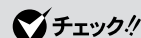
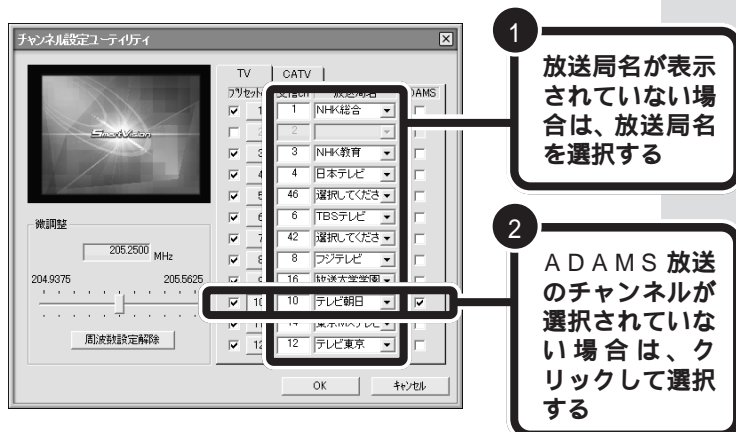
チャンネル設定ユーティリティが起動する

2 ▼をクリックして、ご利用になる地域名をクリックする

3 「オートスキャンする」の左が☑になっていることを確認する

4 「開始」をクリックする

オートスキャンがうまくいかないときは、手順3の☑をクリックして□にして手順 4 へ進んでください。

チャンネルのオートスキャンが始まります。電波状態に異常がないことを確認する画面が表示されたら「OK」をクリックします。次の「地上波の設定をする」に進んでください。

●地上波の設定をする

ここで受信できるチャンネルがすべて設定されていて、CATV(ケーブルテレビ)の設定が必要ない場合は、「OK」をクリックして設定を終了します。

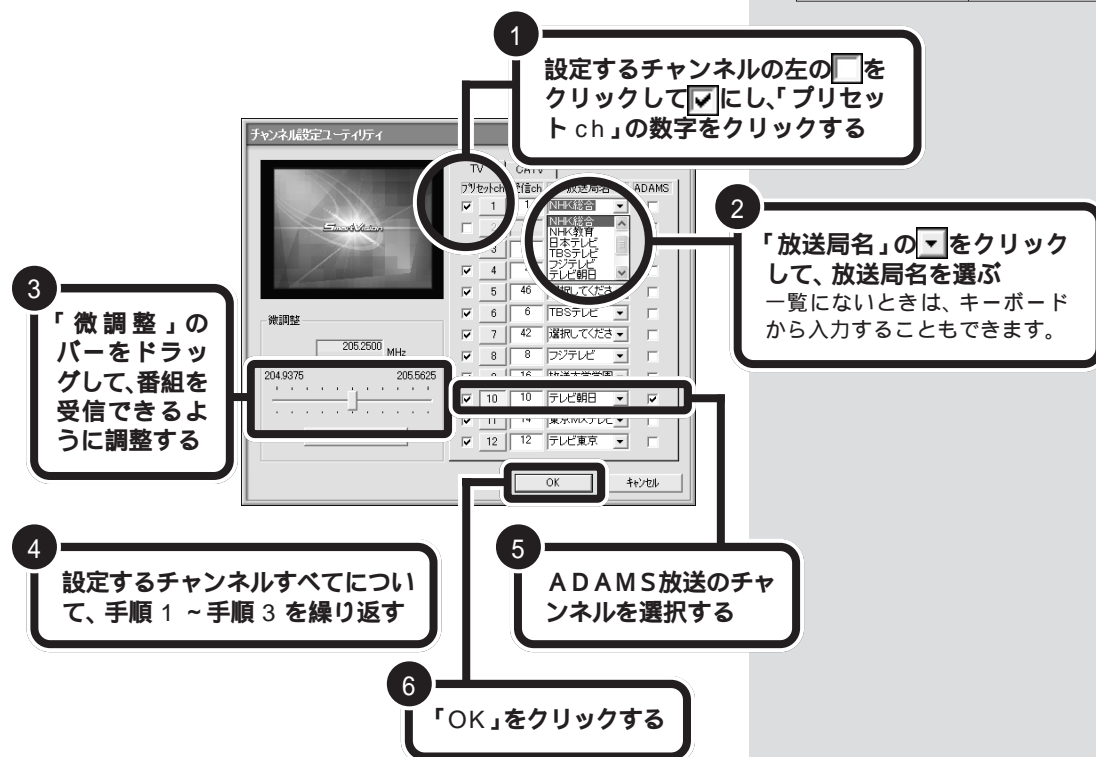
チャンネルの設定がうまくいかなかったときは手動でチャンネルを設定します。

●地上波のチャンネルを手動で設定する

これで、地上波の設定は終了です。

チェック!!

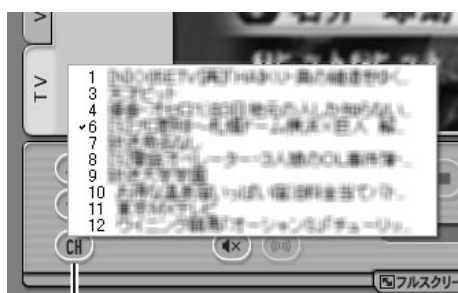
ADAMS放送のチャンネルはお住まいの地域によって異なります。
各地域のADAMS放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです(2003年4月現在)。

放送局	
北海道テレビ放送	朝日放送(ABCテレビ)
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
名古屋テレビ	テレビ朝日

CATV 会社がホームターミナルなどの装置を使用しなくても受信できるチャンネルを供給している場合は､｢CATV｣タブにてチャンネルを割り当てることができます。
その場合は､｢CATV｣ タブをクリックして同様に設定します。

チェック!!

・ＣＡＴＶ番組の視聴方法は、各CATV 会社によって異なります。視聴に、別途ホームターミナル等の装置が必要となる場合もあります。ホームターミナル等の装置がなくても受信できるチャンネルがあるかどうかなど詳しくは、各ＣＡＴＶ会社にお問い合わせいただき､TVチューナー経由で視聴可能なチャンネルを確認してからチャンネル設定を行ってください。
なお､視聴可能なチャンネルは､一部のチャンネルとなります。
・CATV 番組の放送局については、各CATV会社より届けられているＣＡＴＶ番組表等をご覧ください。
・CATV ホームターミナルを接続してテレビを見る場合は、付録の「CATV 放送を見る」(p.130)をご覧ください。

正しくチャンネルの設定ができたか確認する

テレビ番組表の受信が完了していると､チャンネルリストに番組名の一覧が表示されます。また､アドバンストモードの｢番組情報｣タブで､番組情報を見ることができます。

CHをクリックすると､番組名の一覧が表示される

テレビ番組表が受信されていないときは、チャンネル番号のみ表示されます。

PART

2 テレビを見る

SmartVisionの画面を操作して、テレビを見てみましょう。放送中の番組を一時停止したり、巻き戻したりもできます。

※このマニュアルでは、ノーマルモードの画面を使用して、各機能を説明しています。画面モードが異なっている場合は、「画面を切り替える」（p.27）をご覧になり、ノーマルモードに画面を切り替えてください。

テレビ番組を見る

SmartVisionの画面を操作して、番組を見てみましょう。

⚠注意

けが注意

- **ディスプレイをご使用になる際は、周囲を十分に明るくしてご使用ください。**
- **VISUAL モード使用時は、画面表示がより明るくなるため、周囲を十分明るくし、なるべく離れてご使用ください。**
  ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す映像を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失等の症状を起こす人がいるという報告があります。こうした症状のある方は、VISUAL モードを OFF にしてご使用ください。また、VISUAL モード使用中にこのような症状が起きた場合は、すぐにご使用を中止して医師の診察を受けてください。DVD 再生あるいは TV、VIDEO-CD 等をご覧いただく以外の場合はVISUALモードOFFでのご使用をおすすめします。
- **SmartVision を起動する前に、音量を確認し、調整してください。**

VISUAL ボタンについて

VISUAL ボタンのついているディスプレイでは、ディスプレイ前面のVISUAL ボタンを押して、VISUAL モードにできます。VISUAL モードは、テレビやDVDをより鮮やかに楽しむための映像鑑賞モードです。

参照

VISUAL ボタンについて→液晶ディスプレイ一体型モデルの場合は『パソコン機能ガイド』、その他のモデルの場合は、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

SmartVisionを利用できる解像度と表示色は、「８００ ×６００ ピクセル、65,536 色（High Color)」以上です。

参照

- 解像度と表示色の設定について→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「画面の設定」-「ディスプレイの設定」
- 音量の設定について→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「サウンドの設定」

SmartVision の起動と終了

● SmartVision を起動する

1 「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「映像」-「テレビ・ビデオ」-「このソフトを使う」をクリックする

↓ 画面が表示される

- 通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから「SmartVision 起動」をクリックしても起動できます。
- リモコンでも起動できます。詳しくは、『リモコン取扱説明書』をご覧ください。

チェック!!

- テレビを視聴中は、できるだけ他のアプリケーションを操作しないでください。
- SmartVision起動中は、VideoStudioやWinDVD 4などの映像を表示するアプリケーションと同時に使用することはできません。
- SmartVisionは、コンピュータの管理者の権限を持ったユーザーまたは制限ユーザーでログオンしてご利用ください。Guestアカウントでログオンした場合は利用できません。

● SmartVision を終了する

・通知領域の を右クリックして表示されるメニューから「SmartVision 終了」をクリックしても終了できます。
・リモコンでも終了できます。詳しくは、『リモコン取扱説明書』をご覧ください。

画面を切り替える

SmartVisionには、ノーマル / アドバンスト / スリム / フルスクリーンの4 つの画面モードがあります。
画面下にある「画面モード切り替えタブ」を使って画面を切り替えます。

●ノーマルモード

切り替えタブ
TV/VIDEO/外部入力を切り替えます。

SmartVisionのオンラインヘルプを表示します。

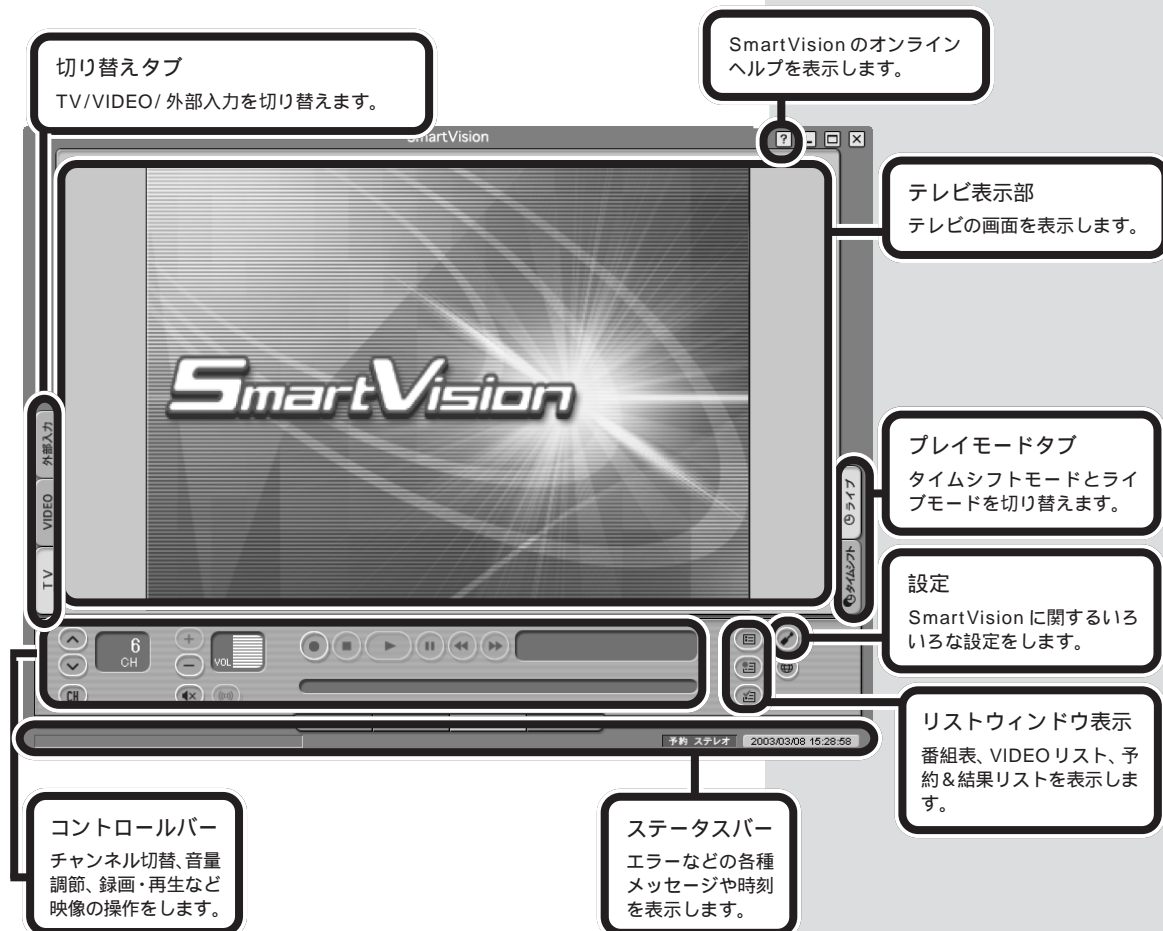
テレビ表示部
テレビの画面を表示します。

プレイモードタブ
タイムシフトモードとライブモードを切り替えます。

設定
SmartVisionに関するいろいろな設定をします。

リストウィンドウ表示
番組表、VIDEOリスト、予約&結果リストを表示します。

コントロールバー
チャンネル切替、音量調節、録画・再生など映像の操作をします。

ステータスバー
エラーなどの各種メッセージや時刻を表示します。

コントロールバー

プログレスバー

タイムシフトモード時：つまみの位置がリアルタイム放送との差を表します。つまみをドラッグしてタイムシフトの時間を調整できます。
録画番組再生時：つまみの位置が現在再生している位置を表します。つまみをドラッグして映像を巻き戻したり早送りしたりできます。
ライブモード時：何も表示されません。

チェック!!

- テレビ表示部で右クリックをすると、メニューが表示されます。メニューで項目を選択しクリックすることで、選択した項目操作を実行できます。
- をクリックすると、インターネットを通じて、SmartVisionの情報を見ることができます。

参照

SmartVisionの設定について→オンラインヘルプの「4.設定」

●アドバンストモード

アドバンストモード画面の左下には、「番組情報」タブ、「シーン・・」タブ、「簡易編集」タブ（録画番組再生時）があり、切り替えて操作します。

「番組情報」タブ

録画可能時間を表示します。

番組開始、終了時刻を表示します。

番組名を表示します。

ポップアップを開いて、番組の詳細情報を表示します。（番組情報がある場合のみ）

視聴中の放送局名を表示します。

「シーン・・」タブ

＊1 録画番組の再生時または タイムシフトモード時のみ
＊2 録画番組の再生時のみ

「簡易編集」タブ

参照

簡易編集について→ PART3 の「簡易編集する」(p.53)

●スリムモード

スリムモードにすると、シンプルな画面で番組を見ることができます。また、ノーマル/アドバンストモードよりも画面のサイズを小さくすることができます。

●フルスクリーンモード

ディスプレイいっぱいに画面を表示します。マウスのボタンをクリックすると元に戻ります。

ノーマルモード・スリムモード・アドバンスモード時に、テレビ表示部をダブルクリックすると、フルスクリーンモードに切り替わります。

タイムシフトモードとライブモードを切り替える

SmartVision で番組を見るときには、タイムシフトモードとライブモードの 2 種類のモードが選べます。
タイムシフトモードでは、見ている番組を一時停止したり、巻き戻したり、巻き戻したところから録画したりと、パソコンならではのテレビの楽しみ方ができます。
ライブモードでは、一時停止や巻き戻しはできませんが、パソコンにかかる負担が小さくなります。

参照
タイムシフトモードとライブモードについて→巻頭の「タイムシフトモードとライブモード」

●タイムシフトモードとライブモードの切替方法

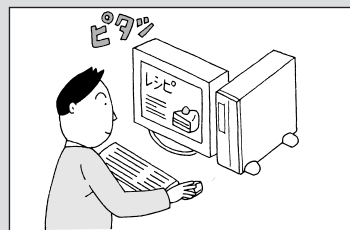
画面右にあるプレイモードタブで切り替えます。

タイムシフトモードで一時停止・巻き戻し・早送りをする

●見ている番組を一時停止する

タイムシフトモード時には、今見ている番組を一時停止して、続きのシーンから再生できます。
一時停止の時間は、ご購入時の状態で 5 分に設定されています。停止時間は変更できます。停止時間を過ぎると自動的に再生が始まります。

使い方

料理番組のレシピやプレゼントの応募先などをメモしたいときなどに便利です。

参照
一時停止時間の変更について→オンラインヘルプの「4.設定」-「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」

1 **コントロールバーの (一時停止) をクリックする**

カウンター表示部に、リアルタイムからどのくらい遅れているのか時間が表示されます。

2 **再生をはじめるときは、（再生）をクリックする**

一時停止をしたところから再生が始まります。

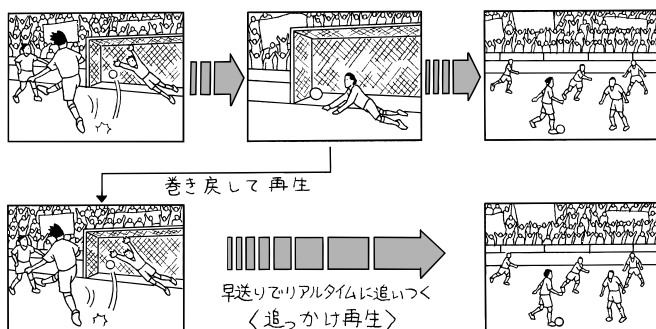
3 **リアルタイムに追いつきたいときは、（早送り）をクリックする**

をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

●見ている番組を巻き戻して見る

タイムシフトモード時には、今見ている番組を巻き戻して見ることができます。巻き戻しシーンを見た後は、巻き戻し中のシーンも含めて、そのまま続きを見ることができます。

使い方

スポーツ番組などで今見たばかりのシーンをもう一度見たい場合などに使います。

1 **（巻き戻し）をクリックする**

カウンター表示部に、リアルタイムからどのくらい巻き戻しているのか時間を表示します。

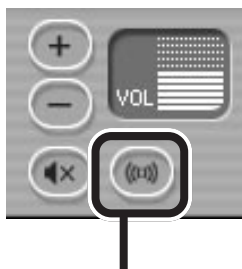
2 **見たい場面で、（再生）をクリックする**

3 **リアルタイムに追いつきたいときは、（早送り）をクリックする**

をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

巻き戻すことができる時間は、ご購入時の状態で「5分前まで」です。最大90分まで設定できます。詳しくは、オンラインヘルプの「4.設定」-「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」をご覧ください。

音声を切り替える

音声多重放送(ステレオ放送、二ケ国語放送など)のときに をクリックすると、音声を切り替えられます。

このボタンを押すと切り替わる

・ステレオ放送のとき
L(左音声をモノラル出力)→R(右音声をモノラル出力)→L - R(ステレオ音声を出力)→L→・・・

・二ケ国語放送のとき
主音声→副音声→主・副→主音声→・・・

音声の切り替えは、タイムシフトモード時と録画番組の再生時のみできます。

L(左音声のみ)/R(右音声のみ)の場合、両方のスピーカに同じ音が出力されます。

字幕放送を見る

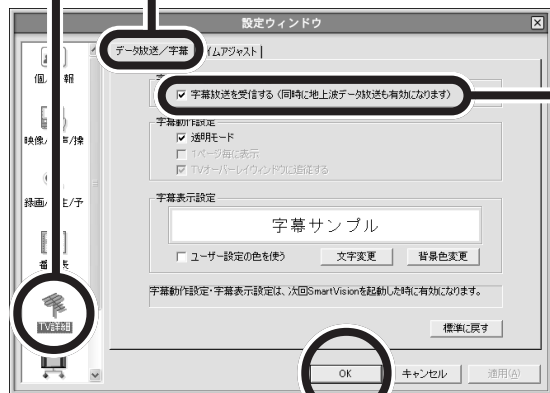
SmartVisionで字幕放送を見るには、次の手順で設定してください。字幕放送はライブモード時のみ表示されます。
字幕放送が始まると、自動的に字幕が表示されます。

字幕放送が終わると、自動的に字幕も表示されなくなります。

●設定のしかた

1 （設定）をクリックする

参照
ライブモード→このPARTの「タイムシフトモードとライブモードを切り替える」（p.31）

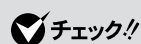
字幕放送されているのは、番組表で字のマークがついている番組です。

ライブモードで字幕を受信する設定を行うと、画面右下の通知領域に字が表示されます。この表示がされている状態で字幕放送が行われている番組にチャンネルを合わせると、字幕が出ます。

チェック!!

設定ウィンドウで字幕を受信する設定にしても、字幕が表示されない場合は、通知領域の字をクリックして表示されるメニューで「字幕表示」にチェックを付けてください。

チャンネルを切り替える

チャンネルを切り替えて、いろいろな番組を見てみましょう。

✓チェック!!

チャンネルを切り替えるときは、少し間隔をあけて操作してください。

チャンネルコントロールで切り替える

チャンネルを切り替えるには、SmartVision 画面の「チャンネルコントロール」を使います。

●チャンネル番号を入力する

1 [1 CH] をクリックする

2 キーボードからチャンネル番号を入力する

5 秒間待つか、【Enter】を押すとチャンネルが切り替わります。

●チャンネルリストから選ぶ

1 [CH] をクリックする

チャンネル一覧が表示されます。

2 見たいチャンネルをクリックする

チャンネルが切り替わります。

●チャンネルボタンで切り替える

をクリックすると、次のチャンネル（数字が大きいチャンネル）に切り替わります。
をクリックすると、前のチャンネル（数字が小さいチャンネル）に切り替わります。

キーボードの【Ctrl】＋【↑】キー/【Ctrl】＋【↓】キーや、リモコンの【チャンネル】ボタンでも同じように操作できます。

キーボードやリモコンで切り替える

キーボードの【1】～【＾】や、リモコンの①～⑫ボタンで、チャンネルを切り替えることができます。
キーボードで操作するときは、【Ctrl】を押しながら、【1】～【＾】を押します。

キーボードの形状はモデルによって異なります。

モデルによって添付のリモコンが異なります。

参照

リモコンの使い方について→『リモコン取扱説明書』

番組表を使って切り替える

番組表を使って、見たい番組を表示します。

1 （番組表）をクリックする

番組表が表示される

2 現在放送されている時間帯の中から、見たい番組を選んでダブルクリックする

番組表の使い方について詳しくは、PART4の「番組表を使う」(p.64)をご覧ください。

参照

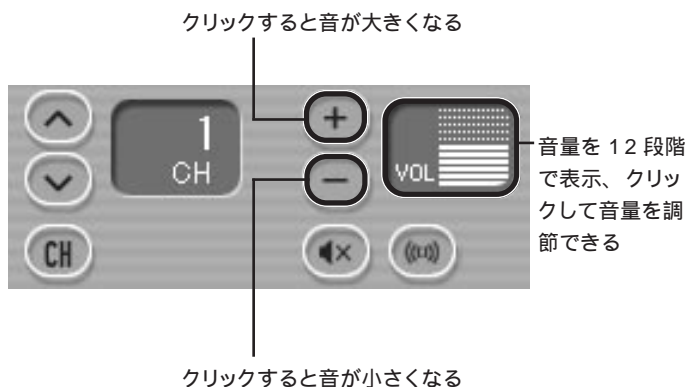
番組表を受信するには→ PART4 の「番組表を自動受信できるようにする」(p.66)

・元の画面に戻すときは、もう一度（番組表）をクリックします。
・放送開始前の番組を選んだときは、「予約設定」画面が表示されます。
→ PART4 の「番組を予約する」(p.67)

音量を調節する

パソコンから出る音がうるさいときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節します。

音声コントロールで調節する

SmartVisionの「音声コントロール」で音量を調節します。

・VALUESTAR TX、FZ、Tシリーズの場合、SmartVisionの音量は、Windowsの「ボリュームコントロール」の「WAVE」「CD Audio」と連動しています。
・その他のシリーズの場合、SmartVisionの音量は、Windowsの「ボリュームコントロール」の「WAVE」「Video」と連動しています。

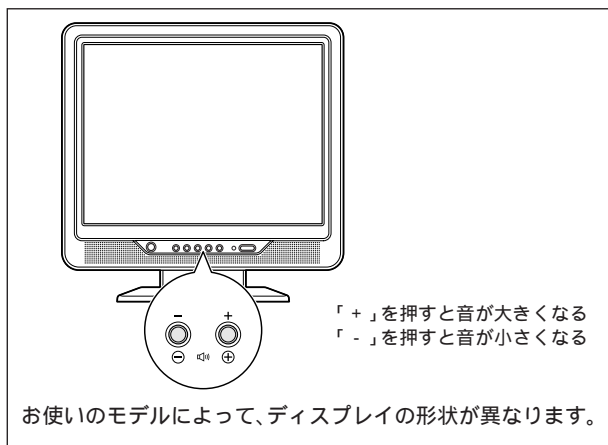
チェック!!

「Video」は標準の状態では表示されません。表示するときは、「オプション」-「プロパティ」をクリックして、「表示するコントロール」から選択してください。

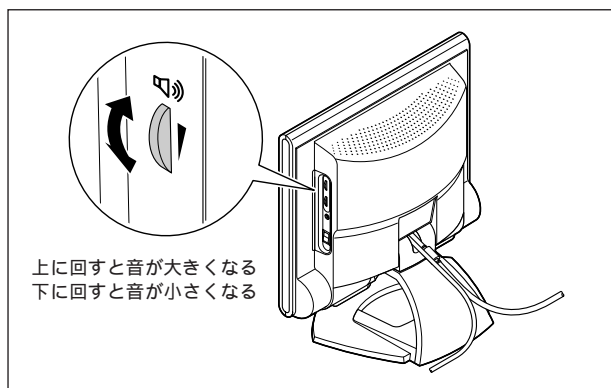
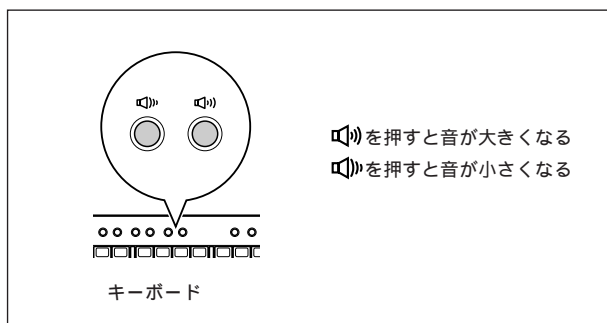
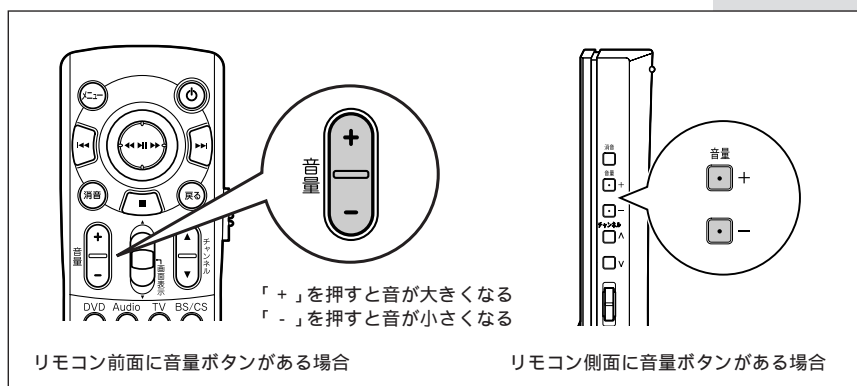
ディスプレイ、キーボード、リモコンで調節する

●ディスプレイのスピーカで調節する

・前面にボリュームボタンがあるディスプレイの場合

お使いのモデルによって、ディスプレイの形状が異なります。

チェック!!

・スピーカの音量が最小になっていると、SmartVisionの音声コントロールで「+」を押してもスピーカからの音は大きくなりません。
・スピーカの音量を調節しても、SmartVisionに表示されるVoLの表示は、変化しません。

・側面にボリュームつまみのあるディスプレイの場合

●キーボードで調節する

●リモコンで調節する

チェック!!

リモコンの【音量】ボタンやキーボードのボリュームボタンは、Windowsの「ボリュームコントロール」の「Volume Control」と連動しています。

モデルによって添付のリモコンが異なります。

参照

ボリュームコントロールについて→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「サウンドの設定」

PART

3

録画と再生をする

「SmartVision」では、テレビの番組を録画したり、録画中の番組を録画終了を待たずに再生したり、見ている番組を巻き戻したところから録画したりできます。今までのテレビではできなかった、便利な使い方がたくさんあります。

テレビ番組を録画する

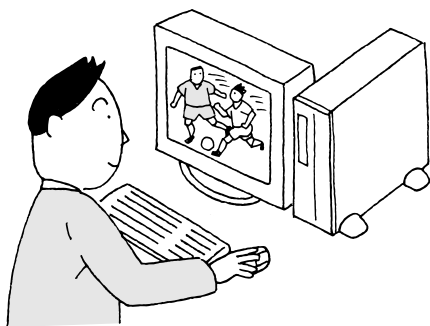
テレビ番組を動画のままパソコンに取り込みましょう。

録画について

一般のビデオ機器でテレビ番組を録画するのと同じように、パソコンにテレビ番組の動画を取り込めます。ビデオテープに録画する代わりにパソコンのハードディスクに記録します。
動画をハードディスクに記録するには、たいへん大きなハードディスク容量を必要とします。記録した動画でハードディスクがいっぱいになる前に、圧縮して保存したり、こまめに不要な動画ファイルを削除するようにしましょう。

チェック!!

- パソコンを長時間使用したあと予約録画をする場合は、一度、パソコンを再起動させ、その後、予約録画の設定を行ってください。また番組再生するときも、パソコンを再起動させた後に再生することをおすすめします。
- 録画中や再生中にエラーが発生した場合は、パソコンを再起動してご使用ください。
- ハードディスク容量は、「マイ コンピュータ」画面でドライブをクリックすると確認できます。

「詳細」欄にハードディスクの容量が表示されます

●画質とハードディスク容量について

SmartVisionで録画をするときは、いくつかの画質が選べます。同じ番組でも画質によって録画に必要なハードディスク容量が違うので、注意してください。
設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」-「録画 / タイムシフト」タブの「画質」で設定します。
設定できる画質と、1時間録画するのに必要なハードディスク容量の目安は次の通りです。

画　質	1時間の録画に必要なハードディスク容量	用途や特長
高画質	約3.5Gバイト	ファイルサイズが多少大きくなりますが、きれいな画質で録画できます。録画したテレビ番組をあとでVideoStudioで編集する場合は、高画質モードで録画することをおすすめします。
標準画質	約1.8Gバイト	一般的な録画に向いています。
長時間	約950Mバイト	やや画質が落ちますが、ファイルサイズを小さくできます。長時間の録画や、ちょっと録画しておきたい時に向いています。
ユーザ設定	約600Mバイト〜約6.5Gバイト（設定によって異なります）	画質を数値で細かく設定できます。パソコンや動画について、詳しい知識がある方向けの設定です。VideoCDに設定すると、CD-RにVideoCD方式で保存できます。

●録画（動画キャプチャ）の制限について

録画中に次のような状態になると、録画は自動的に終了されます。

・ハードディスクの残り容量が、設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」-「録画 / タイムシフト」タブの「録画を停止する空き容量サイズ」で設定している容量（ご購入時の状態では「300Mバイト」）より少なくなったとき

●編集目的で録画するときの注意

・SmartVisionで録画したテレビ番組を、あとでVideoStudioで編集する場合は、高画質モードで録画することをおすすめします。

・市販の編集アプリケーションでは、データサイズや画質により編集できないことがあります。編集アプリケーションの仕様にあわせて設定してください。また、市販の編集アプリケーションでは、長時間のMPEGデータを編集できないことがあります。録画のデータサイズは、4Gバイトを目安に録画してください。

・SmartVisionで録画した映像を、あとでDVD MovieWriterを使ってDVDタイトルに加工する場合は、以下のモードで録画することをおすすめします。

  - 高画質、標準、長時間

ユーザ設定モードで録画する場合は、次のように設定してください。

  - MPEG2（CBR）の場合：ビットレート8Mbps以下
  - MPEG2（VBR）の場合：ビットレート4Mbps以下

キャプチャ、キャプチャする

静止画や動画をパソコンに取り込むことを「キャプチャ」または「キャプチャする」といいます。キャプチャした内容（静止画や動画など）は、画像ファイルや動画ファイルとして記録しておくことができます。

見ている番組を録画する

1 **SmartVision を起動する**

2 **録画したい番組を表示する**

3 **(録画) をクリックする**

録画が始まります。

録画中は、カウンターに録画時間または録画終了までの時間が表示されます。

録画時または録画中に を連続してクリックすると、録画時間を次のように設定できます。

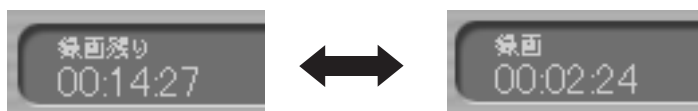
エンドレス(停止ボタンをクリックするまで)→番組終了まで※→15分→30分→60分→90分→120分→エンドレス(停止ボタンをクリックするまで)→…

※番組表を受信していない場合はエンドレスとなります

カウンターをクリックすると次のように録画時間表示が変わります。(エンドレスで録画している場合を除く)

録画残り
00:14:27

録画
00:02:24

参照

SmartVision の起動→ PART2 の「SmartVision の起動と終了」(p.26)

参照

テレビ番組のチャンネル切り替え→ PART2 の「チャンネルを切り替える」(p.36)

リモコンでも録画の操作ができます。詳しくは、『リモコン取扱説明書』をご覧ください。

チェック!!

コピー防止信号が含まれている映像を録画することはできません。コピー防止信号が検出された場合、自動的に録画は終了します。

4 「エンドレス」で録画している場合、録画を終了するときは■(停止)をクリックする

録画した番組は、自動的にパソコンのハードディスクに保存されます。録画した番組を再生するときは、このPARTの「録画したテレビ番組を再生する」(p.48)をご覧ください。
また、録画終了を待たずに再生することもできます。詳しくは、このPARTの「録画しながら再生する」(p.47)をご覧ください。

録画した番組の名称は、次のルールで決定されます。

・番組表のデータがある場合
番組表の「番組情報」欄の《番組名》に表示されている番組名称がそのまま使われます。

・番組表のデータがない場合
「番組名なし」になります。

参照

・録画に必要なハードディスク容量について→このPARTの「録画について」(p.42)
・番組表を受信する→PART4の「番組表を自動受信できるようにする」(p.66)

巻き戻して録画する

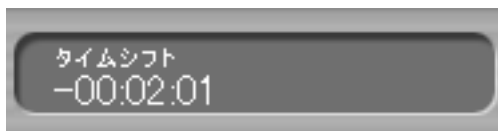
録画しない状態で見ている番組を巻き戻して録画できます。
SmartVisionのタイムシフトモードでは、見ている番組を録画していないときでも、一定時間の番組データをパソコンのハードディスクに書き込んでいます。書き込まれた番組データを巻き戻して録画保存します。巻き戻せる時間は、1分～90分の間で設定できます（ご購入時の状態では5分です）。

使い方

番組をしばらく見ていて、「さっきのシーンから録画しておけばよかった」というときに利用します。
また、「ここから録ろう」というとき、すぐに録画ボタンをクリックしても若干の誤差で録画されない部分が出るため、通常の録画のときも巻き戻してから録画すると確実です。

1 （巻き戻し）をクリックする

カウンターに、リアルタイムからどのくらい巻き戻しているのか時間が表示されます。

タイムシフト
−00:02:01

2 （再生）をクリックする

3 録画を開始したい場面で、（録画）をクリックする

録画開始時および録画中にを連続してクリックすると、録画時間を設定できます（p.44）。

4 リアルタイムに追いつきたいときは、（早送り）をクリックする

をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

5 録画を終了するときは、（停止）をクリックする

録画を終了するときは、手順4の方法でリアルタイムに追いついてから停止することをおすすめします。

チェック!!

- 巻き戻し録画は、あらかじめタイムシフトモードになっていないとご使用になれません。
- 巻き戻せるのは、それまでタイムシフトモードで見ていた番組に限ります。それまで受信していなかった番組や、ライブモードで受信していた番組を巻き戻して録画することはできません。
- タイムシフトモードで巻き戻し中に進行しているシーンもカットされることなく、録画できます。
- 録画画質を「ユーザ設定」-「VideoCD」に設定しているときは、巻き戻し録画はできません。

チェック!!

タイムシフトでさかのぼって録画する場合、それまですでにハードディスクに書き込まれていた番組が録画保存されます。このときリアルタイムに受信している番組のハードディスクへの書き込みも同時に行われています。そのため、5分巻き戻して録画開始し、30分後に録画を停止させた場合、計35分の録画ファイルが保存されます。ハードディスクの空き容量にご注意ください。

録画しながら再生する

録画している最中に、すでに録ったシーンを巻き戻して再生することができます。早送り再生をして、リアルタイムの放送に追いつくこともできます。

使い方

予約録画し、録画を終了しないうちに帰宅したため、さっそく番組の冒頭から見始めたいときなどに利用します。

1 録画中に（巻き戻し）をクリックする

2 （再生）をクリックする

巻き戻したところから再生が始まります。

3 リアルタイムに追いつきたいときは、（早送り）をクリックする

をクリックするたびに追いつくスピードが速くなります。リアルタイムに追いつくと、早送りボタンは使用できなくなります。

録画中に一時停止や再生、早送りをしても録画は中断されないでそのまま続行されています。

録画を中断する

使い方

録画中に、以降の録画をやめたいときに使用します。

1 録画中に、（停止）をクリックする

- 通知領域にあるを右クリックして表示されるメニューから「録画終了」をクリックしても録画を中断できます。
- リモコンでも録画を中断する操作ができます。詳しくは、『リモコン取扱説明書』をご覧ください。

録画予約する

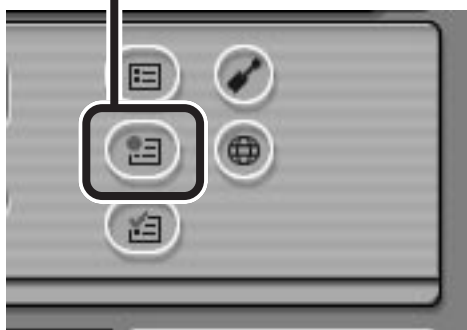
「PART4 視聴 / 録画予約する」（p.63）をご覧ください。

録画したテレビ番組を再生する

録画した番組を再生してみましょう。

VIDEO リストから選んで再生する

1 SmartVision を起動する

2 (VIDEO リスト) をクリックする

「VIDEO リスト」が表示される

参照

SmartVision の起動→ PART2 の「SmartVision の起動と終了」(p.26)

- 通知領域にあるを右クリックして表示されるメニューから「VIDEO リスト拡大表示」をクリックしても VIDEO リストを表示できます。
- リモコンでも VIDEO リストを表示できます。詳しくは『リモコン取扱説明書』をご覧ください。

3 再生したい録画番組の保存先を指定する

通常は、「設定」-「録画 / 再生 / 予約」-「録画 / タイムシフト」タブの「録画番組保存先」で指定した保存先（購入時の状態では「C:\Documents and Settings\All Users\Documents\My Pictures」）が表示されます。変更する場合は「フォルダ」欄に表示されているフォルダを指定するか、「追加」をクリックして番組が保存されているフォルダを指定してください。

4 再生したい番組をクリックする

番組が選択され、反転表示されます。
水色で表示されている番組は、まだ一度も再生していない番組です。
番組名に「シークレット録画」と表示されている番組は、録画したユーザーアカウント以外では再生できません。再生する場合は、録画したユーザーでログオンしてください。

5 再生（再生）をクリックする

再生が始まります。

6 再生を終了するときは■（停止）をクリックする

再生を停止します。
次に再生するときには、停止した場所から再生できます。

参照

録画番組の保存先を変更するには
→オンラインヘルプ

チェック!!

予約録画をしたのに、一覧に番組のタイトルがない場合は、「結果リスト」で予約結果を確認してください。

参照

予約結果を確認するには→PART4の「予約した録画が成功したか確認する」（p.77）

チェック!!

- ■（停止）をもう一度クリックすると、番組の先頭に戻ります。
- 再生中に他の番組の再生に切り替えたり、SmartVisionを終了した場合でも、次に再生するときには、その場所から再生されます。

サムネイルから見たいシーンを再生する

シーンインデックス機能を使うと、録画した番組の場面の変わり目をサムネイルで表示することができます。ブックマーク（頭出し印）を追加することもできます。また、表示されている映像を静止画にしてパソコンに取り込むことができます。

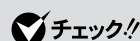
1 アドバンストモード画面の「シーン…」タブをクリックする

シーンインデックスが表示される

ブックマークの場面（画面左上に赤い◤が表示されます）

再生中の画面
（画面中央下に赤い▲が表示されます）

選択された画面
（画面全体に▒がかかっています）

チェック!!

シーンインデックスで表示されている▲（再生中の場面）の位置は、短縮再生した場合、一致しないことがあります。

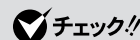
●ブックマークを登録する

ブックマークは、あとで繰り返し再生したいシーンなどに頭出しのための印を入れて、しおりの役目をするものです。再生中のほか、タイムシフト視聴時でも登録できます。

1 ブックマークを登録したい場面で［ブックマーク登録］をクリックする

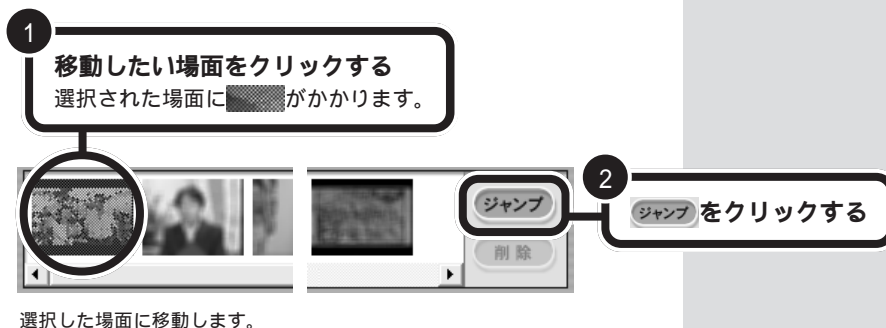
画面左上に赤い◤が表示されます。

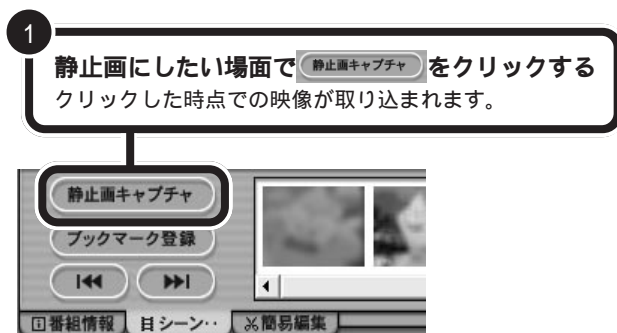
［⏮］をクリックすると、前のブックマークのある場面に移動します。ブックマークがないときは前のシーンに戻ります。［⏭］をクリックすると、次のブックマークのある場面に移動します。ブックマークがないときは次のシーンに進みます。ブックマークもシーンもない場合は、それぞれ録画の先頭と最後に進みます。

チェック!!

- 登録できるブックマークは50個までです。
- ライブモードで視聴中はブックマークを登録できません。

●見たい場面に移動する

シーンインデックス機能を使うと、サムネイルで表示されている場面に移動することができます。

選択した場面に移動します。

●静止画にしてパソコンに取り込む

表示されている映像を静止画にしてパソコンに取り込むことができます。

パソコンに取り込むことのできる静止画サイズは、SmartVisionのモードや録画した番組の画質によって異なります。タイムシフトモード時の画質は、「設定」-「録画／再生／予約」-「録画／タイムシフト」タブの「画質」で設定した画質になります。

ライブモード	320×240ドット
長時間録画データ	720×480ドット
標準画質録画データ	720×480ドット
高画質録画データ	720×480ドット
ユーザ設定録画データ	設定によって異なります

チェック!!

・購入時の状態では「C:\Documents and Settings\All Users\Documents\My Pictures\Capture」に保存されます。
・キーボードの【C】を押しても静止画キャプチャを行えます。

チェック!!

取り込んだ静止画は、実際に表示されている画面と異なる縦横比率になることがあります。この場合は、ペイントなどの静止画編集ソフトを使用して、縦横比率を修正してください。

特殊再生モードを使う

録画した画像や音声を自動抽出してダイジェスト版で再生することができます（特殊再生）。
特殊再生には、次の 3 つのモードがあります。

- 音声付き変速再生
  シーンはカットせず、すべてのシーンを早送りで再生する方法。音声も早送りで出力されます。
- 短縮再生（録画番組再生時のみ）
  会話や字幕のあるシーンだけを通常スピードで再生する方法。ニュース番組を短時間で見る場合などに便利です。
- リピート（録画番組再生時のみ）
  録画した番組を自動でくりかえし再生します。

選択したモードで特殊再生が始まります。

場面の切り替わるところには、SmartVision が自動的に作成するブックマークが追加されています。

チェック!!

- 短縮再生機能は、画面上部3分の2に表示される映像の切り替わりや、画面下部 3 分の 1 に表示されるテロップなどを参考に画像検出を行っています。従って、映像の表示内容によっては、期待した抽出効果が得られない場合があります。
- VideoCD 画質で録画したデータの場合、音声付変速再生のみ行えます。

設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」-「再生 / 編集」タブの「変速再生の再生倍率」で再生倍率を変更すると、音声付き変速再生の速さを設定できます。
「短縮再生の短縮率」で短縮率を変更すると、録画時間に対する短縮の割合を設定できます。

簡易編集する

SmartVisionには、再生中の番組のシーンを切り抜いたり、つなげたりする簡易編集機能があります。編集したデータは、ひとつの番組として保存できます。
録画した番組を再生すると、アドバンストモード画面に「簡易編集」タブが表示されます。

チェック!!
複数の番組にまたがった編集はできません。

参照
番組を再生するには→このPARTの「VIDEOリストから選んで再生する」(p.48)

1 編集したい番組を再生する

2 アドバンストモード画面の「簡易編集」タブをクリックする

3 編集する

4 編集が終わったら、保存をクリックする

インデックスに登録したシーンがつながって、ひとつの番組として保存されます。

購入時の状態では「C:\Documents and Settings\All Users\Documents\My Pictures\SVEdit」に保存されます。

録画データを分割する

エクスポート機能を使うと、録画した番組のデータを分割して保存することができるので、CD-R に保存するときに便利です。

CD-R にデータとして保存するときは、RecordNow DX などをお使いください。

通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから「VIDEO リスト拡大表示」をクリックしても VIDEO リストを表示できます。

1 （VIDEO リスト）をクリックする

録画した番組の一覧が表示されます。

2 エクスポートしたい番組をクリックする

3 エクスポート をクリックする

「録画番組のコピー」をクリックすると、録画した番組を他のフォルダにコピーできます。

4 「MPEG ファイルの分割」をクリックする

抽出したファイルはVideoStudioやDVD MovieWriterを使って連結したり、編集できます。

参照

抽出ファイルの連結、編集について
→VideoStudioおよびDVD Movie Writerのヘルプ

CD-R/RWやDVD-R/RWに保存する

●CD-R/RWやDVD-R/RWに保存する

録画したテレビ番組は、CD-R/RWやDVD-R/RWに保存しておくこともできます。
ここでは、番組を一つだけ選択して書き込みするときの手順を説明します。複数の番組を選択したときの手順については、DVD MovieWriterのヘルプを見ながら操作してください。

1 CD/DVDドライブにメディア（CD-R/RWやDVD-R/RWなど）をセットする

「Windowsが実行する動作を選んでください」と表示されたら、「キャンセル」をクリックしてください。

2 **（VIDEOリスト）をクリックする**
録画した番組の一覧が表示されます。

3 保存したい番組をクリックする

4 **をクリックする**

チェック!!
- DVD-R/RWに保存できるのは、DVD-RAM/R/RW with DVD+R/RWモデル、DVD-RAM/R/RWモデル、DVD-R/RWモデルの場合だけです。
- 「高画質」「標準画質」「長時間」以外の画質で録画した番組はDVD MovieWriterでDVD形式のデータに変換する時に時間がかかる場合があります。

通知領域にある■を右クリックして表示されるメニューから「VIDEOリスト拡大表示」をクリックしてもVIDEOリストを表示できます。

チェック!!
保存したい番組が複数あるときは、キーボードの【Ctrl】キーを押しながら番組をクリックすると選択できます。

「DVD 直接書き込み」をクリックすると、タイトルメニュー作成などを省いて、簡単に DVD-R/RW に保存することができます

5 **「DVD メニューつき書き込み」をクリックする**
DVD MovieWriter が起動します。

「メニュー作成」画面が表示される

6 **保存する形式を選択する**
CD-R/RW に保存するときには、VideoCD 形式、DVD-R/RW に保存するときには、DVD 形式を選択します。

7 **「次へ」をクリックする**

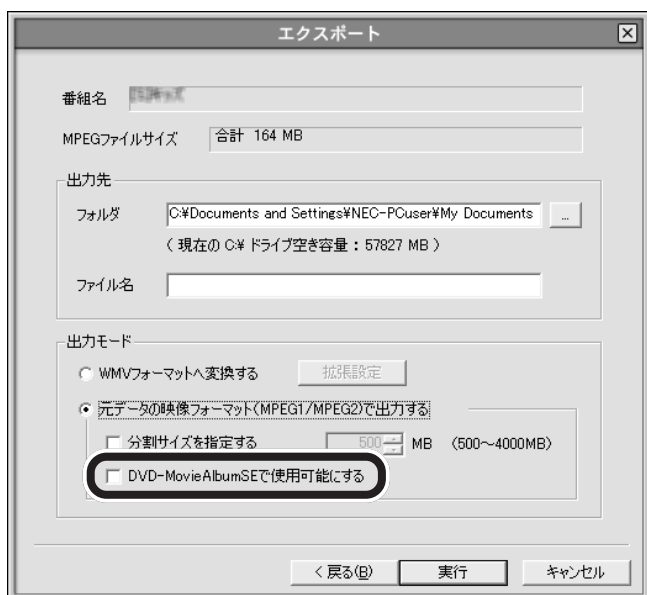
「プレビュー」画面が表示される

8 **「次へ」をクリックする**

「出力」画面が表示される

ディスクの作成が始まります。画面の説明を見ながら操作してください。詳しくは、DVD MovieWriterのヘルプをご覧ください。

●録画データをDVD-MovieAlbumに読み込ませる（DVD-MovieAlbumが添付されているモデルのみ）

あらかじめSmartVisionで録画したデータを、エクスポート機能を使って「DVD-MovieAlbumSEで使用可能にする」設定で保存しておく必要があります。

チェック!!

- 書き込みに失敗したCD-RやDVD-Rは、再生できなくなります。書き損じによるCD-RやDVD-Rの保証はできませんのでご注意ください。
- 作成が完了すると、自動的にドライブからディスクトレイが出てきます。その後「操作を完了しました。」のメッセージが表示されるまで、10秒程度かかる場合があります。

チェック!!

作成したCD-R/RWやDVD-R/RWはWinDVD 4などで再生できます。

チェック!!

DVD-MovieAlbumが添付されていないモデルでは、左記の「DVD-MoieAlbumSEで使用可能にする」は表示されません。

参照

エクスポート機能について→このPARTの「録画データを分割する」（p.54）

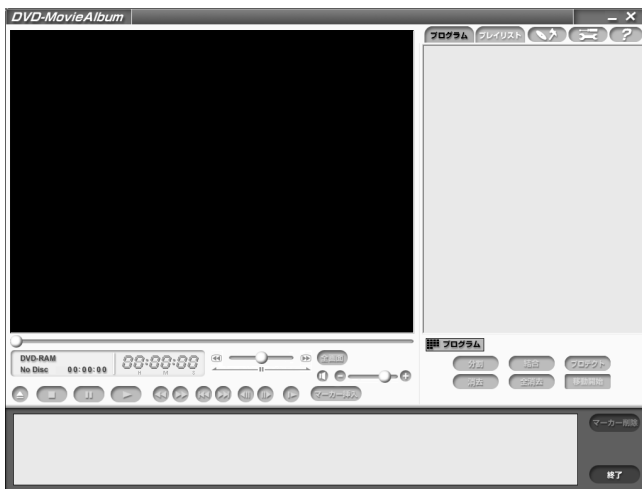
DVD-MovieAlbumで保存できるのは、次の画質で録画した番組をエクスポートしたデータです。

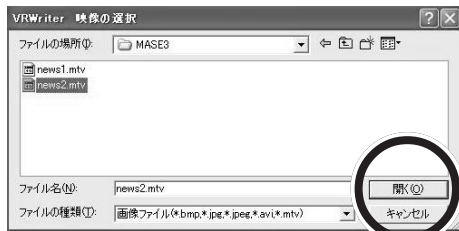
・標準画質
・高画質
・ユーザ設定
　-MPEG2（CBR）ビットレート2Mbps～8Mbps
　-MPEG2（VBR）ビットレート1.2Mbps～4Mbps

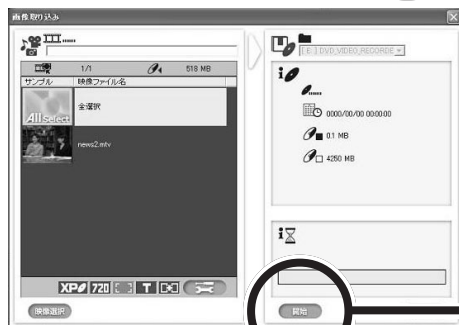
DVD-MovieAlbumに録画データを取り込む手順は次の通りです。

1 映像データの記録されたDVD-RAMディスクをCD/DVDドライブにセットする。

2 「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「映像」-「映像の編集」-「DVD-MovieAlbumSE」-「このソフトを使う」をクリックする

DVD-MovieAlbumが起動します。

3 「補助機能」をクリックし、「ファイルからの画像取り込み」をクリックする

4 「映像選択」をクリックする
「VRWriter 映像の選択」が表示されます。

5 保存したいファイルを選択して、「開く」をクリックする

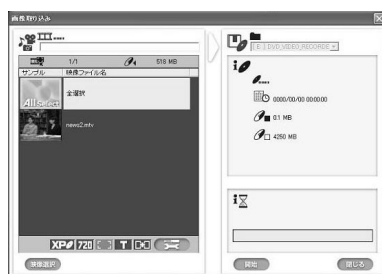
エクスポート機能で保存したデータは購入時の設定では「C:\Documents and Settings\All Users\Documents\My Pictures\SVExport」に保存されています。

6 「開始」をクリックする
「よろしいですか？」と表示されます。

7 「はい」をクリックする

しばらくすると「書き込みが完了しました」と表示される

8 「OK」をクリックする

9 「閉じる」をクリックする

保存したいデータが複数あるときは、すべてのデータを取り込むまで手順4から手順8を繰り返します。

これで、DVD-MovieAlbumに録画データが取り込まれました。
DVD-MovieAlbumの使い方について詳しくは、DVD-MovieAlbumのオンラインマニュアルをご覧ください。

インポート機能を使う

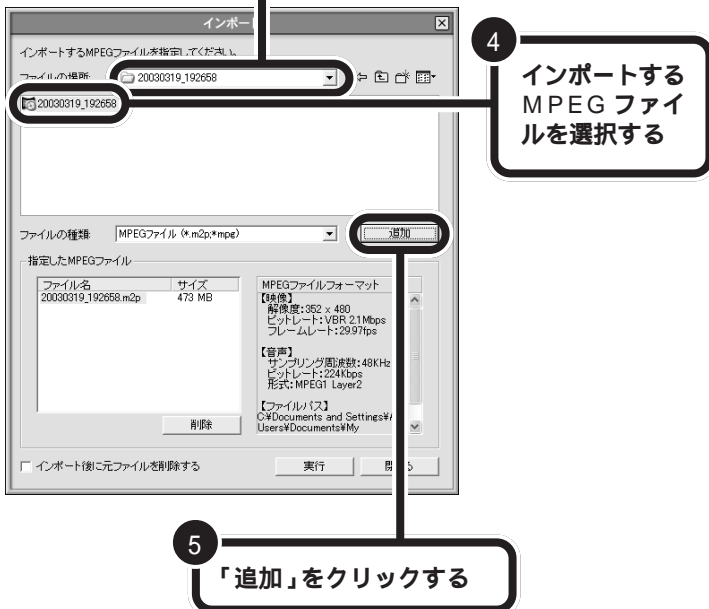
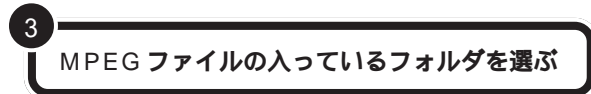
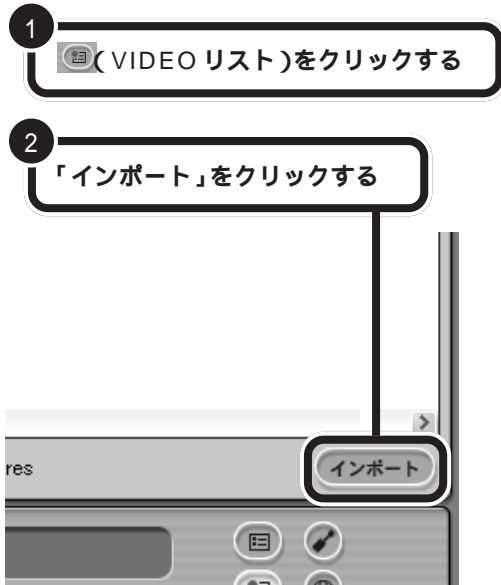
MPEGファイルで保存されている映像データをSmartVisionで再生することができます。

1 （VIDEO リスト）をクリックする

2 「インポート」をクリックする

3 MPEG ファイルの入っているフォルダを選ぶ

4 インポートするMPEG ファイルを選択する

5 「追加」をクリックする

チェック!!

インポートできるファイルは、MPEG ファイルのみです。Video CD の映像データはインポートできません。

チェック!!

保存したい番組が複数あるときは、キーボードの【Ctrl】キーを押しながら番組をクリックすると選択できます。

6

「実行」をクリックする

MPEGファイルをインポートします。

7

インポートが終了したら、「OK」をクリックする

PART

4

視聴 / 録画予約する

「SmartVision」では、番組表を使って、見たい番組を見のがさないように視聴予約したり、録画予約することができます。また、ジャンルや出演者など、いろいろな条件で番組を探すこともできます。

番組表を使う

クリックすると予約もできる番組表を使ってみましょう。

番組表を見る

SmartVisionでは、テレビの番組表を受信して画面上に表示できます。表示した番組表から録画予約をしたり番組の詳細情報を見たりと便利な使い方ができます。

1 (番組表)をクリックする

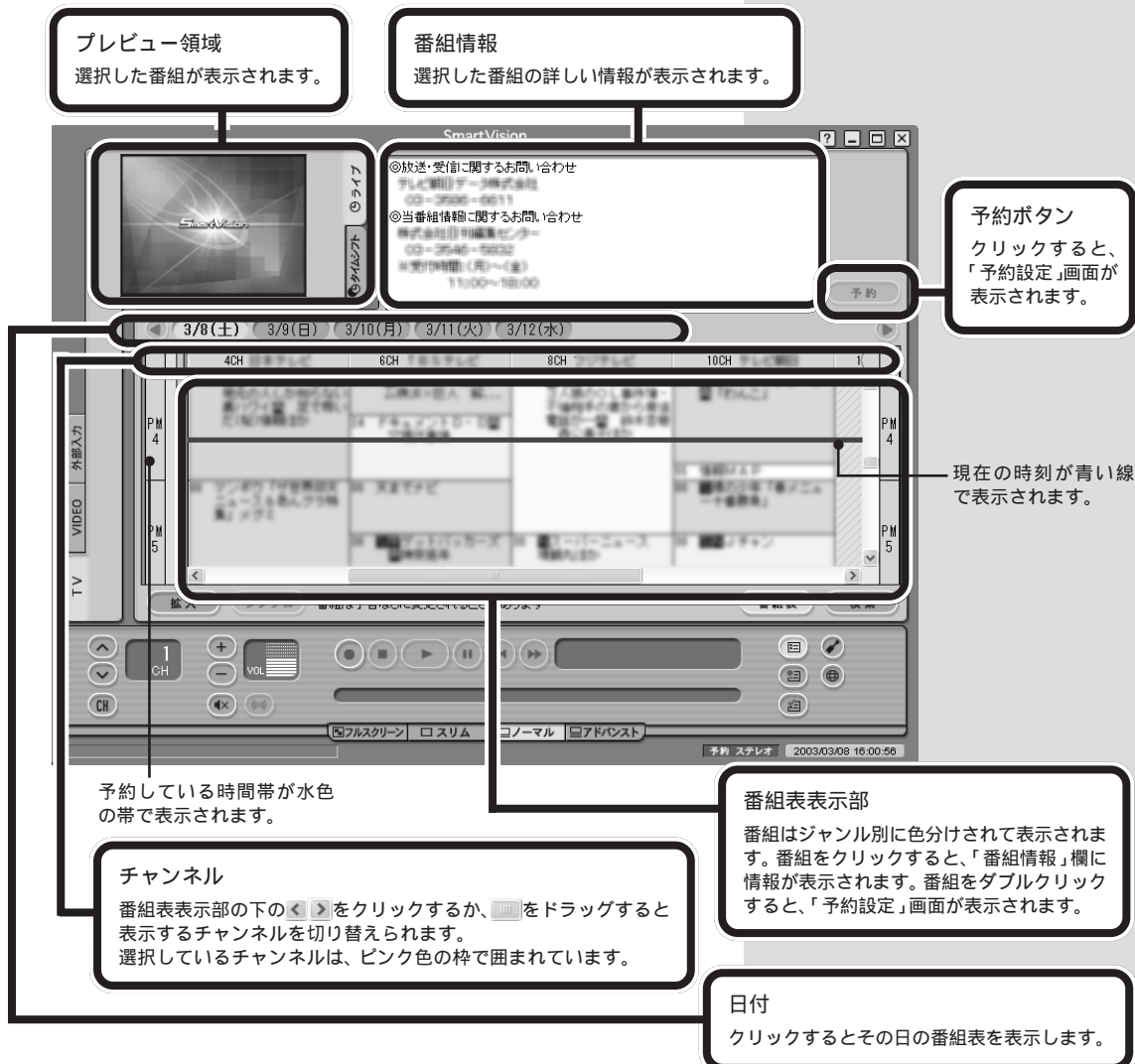
番組表が表示される

チェック!!

- 通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから「番組表拡大表示」をクリックしても番組表を表示できます。
- リモコンでも番組表を表示できます。詳しくは、『リモコン取扱説明書』をご覧ください。

チェック!!

通知領域の が点滅しているときは、番組表の受信中です。まだ番組表が受信できていないときは、 をクリックしても、完全な番組表は表示されません。受信が終わるまでお待ちください。

●番組表の画面について

●番組表について

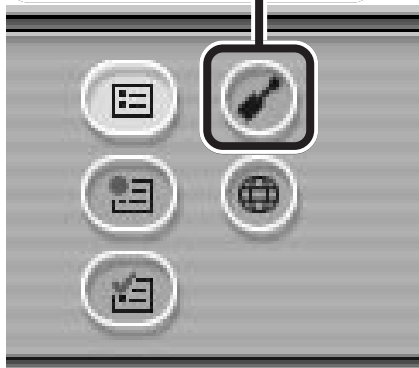
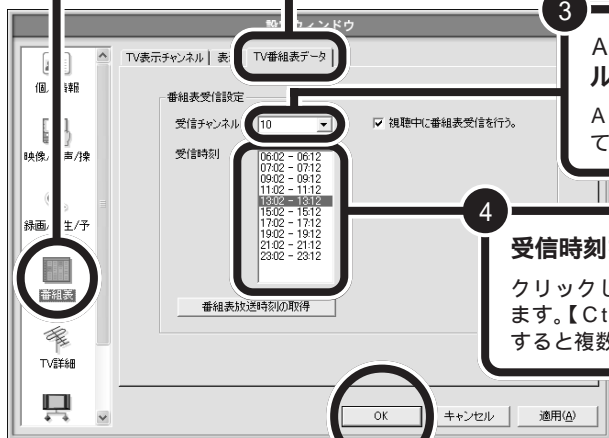
番組表は、ADAMS 放送の 1 コンテンツとして放送されています。ADAMS放送は、それぞれの地域のテレビ朝日系列の放送局から受信されます。現在、北海道、東京、名古屋、大阪、福岡地区では 8 日分の番組情報を、その他の地域では 2 日分の番組情報を放送しています。

各地域のADAMS放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです（2003年 4 月現在）。

放 送 局	
北海道テレビ放送	朝日放送(ABCテレビ)
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
名古屋テレビ	テレビ朝日

番組表を自動受信できるようにする

番組表のデータを自動的に受信できるように設定できます。

1 （設定）をクリックする

2 設定ウィンドウの「番組表」アイコンをクリックし、「TV番組表データ」タブをクリックする

3 ADAMS放送を行っているチャンネルになっていることを確認する

ADAMS放送を受信できる放送局については、前ページの表をご覧ください。

4 受信時刻をクリックする

クリックした時間帯が反転表示されます。【Ctrl】を押したままクリックすると複数の時間帯を選択できます。

5 「OK」をクリックする

次回起動時から、設定した時間になると、番組表を受信します。

チェック!!

番組表はADAMS放送の1コンテンツとして受信されます。ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルを設定していないと、番組表は受信できません。また、受信中にチャンネルを変更しても番組表を受信できません。

反転表示された時間帯を【Ctrl】を押したままクリックすると選択を解除できます。

「スタート」-「終了オプション」で「スタンバイ」（または「休止状態」）を選択して、パソコンを省電力状態にしても、受信時刻になると自動的に番組表を受信します。

チェック!!

テレビ番組表の受信開始2分前から終了1分後の間に他の予約（録画予約、視聴予約）が重なった場合は、他の予約が優先され、テレビ番組表は受信されません。

番組を予約する

番組の録画予約や視聴予約をしてみましょう。予約した時刻になると、SmartVisionが起動して、自動的に録画や視聴が始まります。

予約する前に次のことをご確認ください。

・ Windows のログオン時のパスワードおよびそれと同じパスワードをSmartVision に設定しておく必要があります。
・ 予約までの時間を省電力状態にする場合は、省電力状態から復帰する際にパスワード入力の画面が表示されない設定にしておくことが必要です。

チェック!!

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

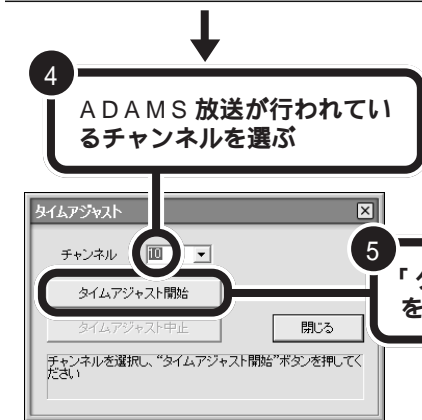
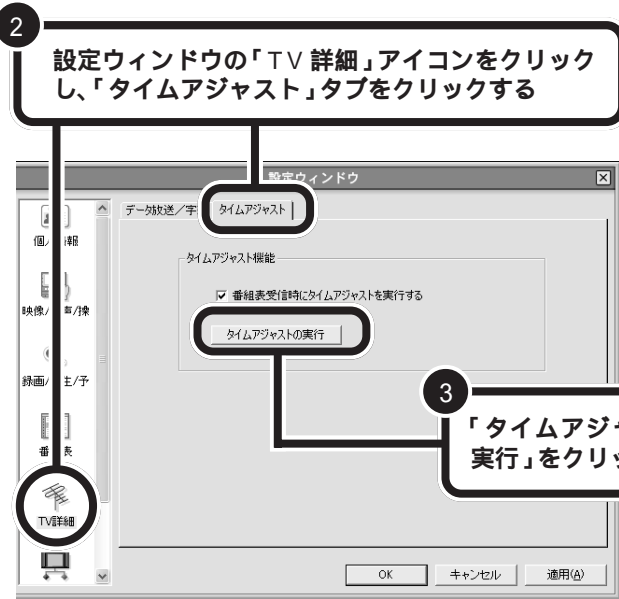
参照

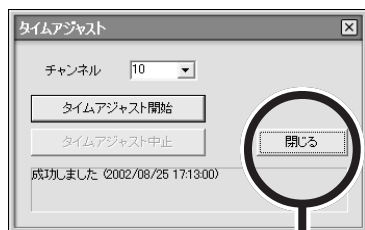
パスワード設定について→PART1の「Windows のパスワードを設定する」(p.7)、「SmartVisionにパスワードを設定する」(p.21)

パソコンの時計を合わせる

テレビの録画予約をするときに、パソコンの時計がずれていると、正しい時間に録画ができなくなります。「タイムアジャスト機能」を使えば、テレビ電波で送られてくる時刻信号を利用してパソコンの時計を正しい時刻に保つことができます。

チェック!!

「タイムアジャスト機能」を使うときは、コンピュータの管理者の権限を持ったユーザーで行ってください。制限ユーザーでは利用できません。

1 (設定) をクリックする

受信が成功すると、この画面が表示されます。

チェック!!

「番組表受信時にタイムアジャスト機能を実行する」のチェックが □（オフ）になっているときは、クリックして ☑（オン）にすることをおすすめします。

受信中は「しばらくお待ちください」と表示されます。

各地域のADAMS放送をご覧になれる放送局は、以下の通りです（2003年4月現在）。

放送局	
北海道テレビ放送	朝日放送(ABCテレビ)
青森朝日放送	広島ホームテレビ
岩手朝日テレビ	山口朝日放送
東日本放送	瀬戸内海放送
秋田朝日放送	愛媛朝日テレビ
山形テレビ	九州朝日放送
福島放送	長崎文化放送
新潟テレビ21	熊本朝日放送
長野朝日放送	大分朝日放送
静岡朝日テレビ	鹿児島放送
北陸朝日放送	琉球朝日放送
名古屋テレビ	テレビ朝日

ADAMS放送を行っていない放送局が選択されていたなどの理由で、受信できない場合は受信を開始してから約70秒後に「時刻取得に失敗しました」と表示されます。

番組表を使って予約する

受信した番組表を使って、番組の録画を予約してみましょう。

1 (番組表)をクリックして、番組表を表示する

2 予約したい日付をクリックして、表示する

3 スクロールバーを左右にドラッグして、予約したい放送局を表示する

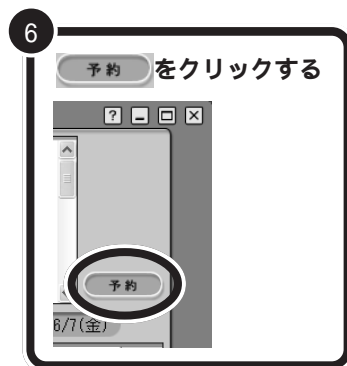
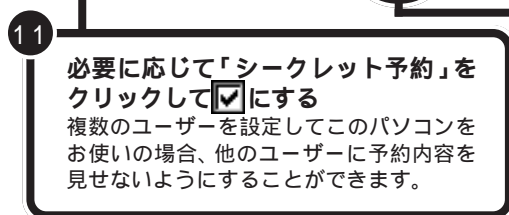
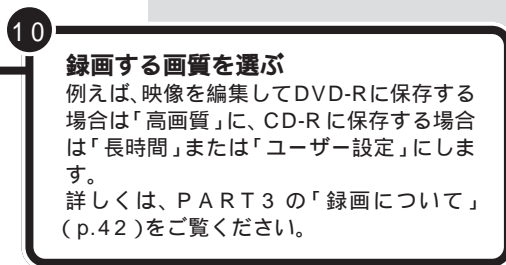
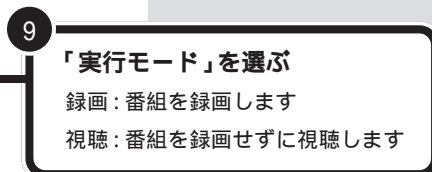
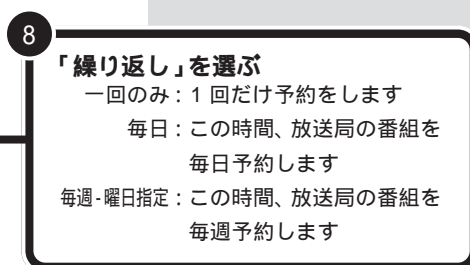
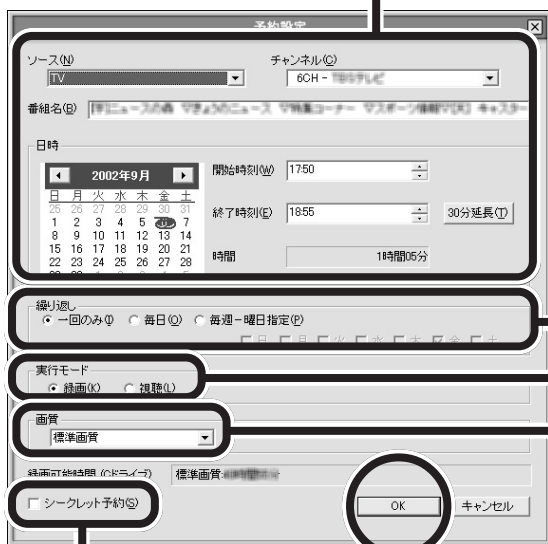
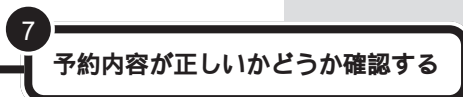
4 スクロールバーを上下にドラッグして、予約したい番組を表示する

5 予約したい番組をクリックする

「番組情報」欄に、番組の詳細情報が表示されます。

番組を予約するために、パソコンの時計が正しく設定されていることを確認してください。

通知領域にあるを右クリックして表示されるメニューから「番組表拡大表示」をクリックしても番組表を表示できます。

予約は、現在の時刻から 3 分以上あとの番組が対象です。

番組名をダブルクリックしても予約設定の画面が表示されます。

これで番組の予約ができました。

●省電力状態にする

視聴・録画予約をした後、パソコンを使用しないときは、パソコンを省電力状態にしておきます。予約した時間になると、自動的にパソコンが復帰し、録画を始めます。

1 をクリックする
SmartVisionが終了します。

2 パソコンを省電力状態にする
ご購入時には20分なにも操作しないと自動的に省電力状態になるよう設定されています。

ひんぱんに録画する場合（週10時間以上）は、ハードディスクへの書き込みを効率的にするために週1回程度は、ディスク デフラグ（「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システム ツール」-「ディスク デフラグ」）を実行してデータを整理することをおすすめします。なお、大容量のハードディスクのディスク デフラグには時間がかかります。十分な時間がとれるときに行ってください。

●予約を実行する

予約の開始時刻が近づき、予約開始5分前になると、次の画面が表示されます。

また、通知領域の が点滅し、もうすぐ視聴や録画が始まることを知らせます。

5分前　　　　1分前

予約開始2分前になると再び画面が表示されます。パソコンを使用中の場合は、使用しているソフトを終了して録画できる状態にしてください。
このときログオンユーザーを切り替えたりすると、予約が実行できなくなりますのでご注意ください。
録画中は、 が次のように点滅します。

チェック!!

- パソコンが省電力状態になると、消費電力が低く抑えられます。
- 予約後にパソコンを省電力状態にしておく場合、パスワードの設定が必要です。パスワードについて→PART1の「Windowsのパスワードを設定する」（p.7）、「SmartVisionにパスワードを設定する」（p.21）

参照

省電力状態について→『パソコン機能ガイド』PART4の「省電力機能」または、『ユーザーズマニュアル』PART7の「省電力機能」

参照

ディスク デフラグについて→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「パソコンのメンテナンス」

VALUESTAR FSの場合
NIGHT MODEボタンをONにすると、深夜番組などを予約録画する場合でも、ディスプレイやサウンドをオフにした状態で録画可能となり就寝中や外出中の録画に便利です。また、録画途中からNIGHT MODEに切り換えることも可能です。
本体前面のNIGHT MODEボタンを押すと、NIGHT MODEとなり、ボタン中央のランプが青色に点灯します。

通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから「予約キャンセル」をクリックすると、予約をキャンセルします。

番組表を使わないで予約する

録画予約したい時刻までに番組表が受信できないなど、番組表を使った予約ができないときは、手動で予約できます。

これで予約ができました。

番組を検索して予約する

番組表のデータから出演者などのキーワードを入力して番組を検索して予約ができます。

1 （番組表）をクリックして、番組表を表示する

2 検索 をクリックする

3 キーワードを入力する

キーワードには、出演者名や番組タイトルなどを入力してください。

4 検索する日付の範囲と検索する番組のジャンルを選ぶ

5 検索開始 をクリックする

次の画面が表示される

通知領域にあるを右クリックして表示されるメニューから「番組表拡大表示」をクリックしても番組表を表示できます。

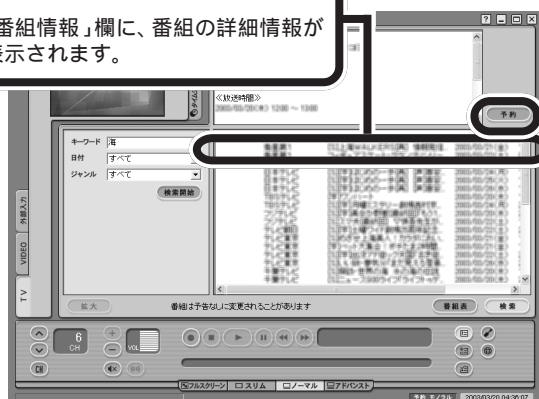
チェック!!

番組表のデータがない場合、番組を検索できません。

参照

番組表の受信の設定について→このPARTの「番組表を自動受信できるようにする」（p.66）

チェック!!

複数のキーワードを入力したいときは、キーワードとキーワードの間にスペースを入力します（「料理　魚」など）。設定したキーワードすべてを含む番組が検索されます。

「予約設定」画面が表示されます。この後の手順は、「番組表を使って予約する」の手順 7（p.70）以降を行って番組を予約してください。

予約するときの注意

- パソコンの時計が正しく設定されていることを確認してください。
- 予約を行う場合は、システムスタンバイの設定を5分以上に設定してください。
- 予約は、現在の時刻から 3 分以上後の番組が対象です。
- SmartVision が起動された状態で予約録画を行なう場合、番組の録画は開始時刻より若干遅れて録画が開始される場合があります。
- 番組開始時間ちょうどに予約録画を開始したい場合は、「設定」の「予約」欄で録画開始時刻を微調整してください。
- 予約は 128 件まで行えます。（番組表受信予約・おまかせ録画を含む）
- 予約時刻が重なっている場合は、エラー画面が表示され、予約ができません。
- 予約時刻が番組表受信時刻と重なっている場合には、「ADAMS-EPG取得時刻と重複しています。この時間のEPG受信を取りやめますか？」というメッセージが表示されます。そのまま予約する場合は、「はい」をクリックしてください。
- 番組表や番組検索画面でプリセットチャンネルとして、設定されていない放送局を選択した場合、外部入力の予約になります。

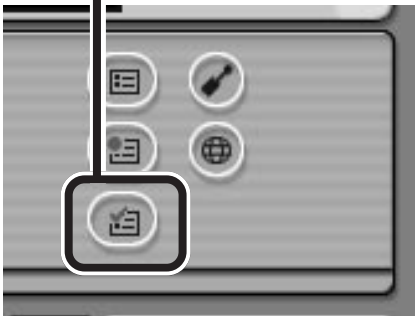
- 放送時間が連続した複数の番組を予約録画する場合、次のようになります。

  録画終了時：次の番組の録画開始処理のため、番組終了時刻より若干早めに録画が終了します。

  同じチャンネルで連続して録画予約している場合、最初の録画は番組終了時刻の 5 秒前に終了します。異なるチャンネルで連続して録画予約している場合、最初の録画は番組終了時刻の 15 秒前に終了します。

- 視聴と録画など、複数の番組を異なるモードで予約する場合は、すでに予約済みの番組の開始 3 分前から終了 3 分後までの時間帯に重なる番組は予約できません。
- 番組の録画開始時刻は、「設定」-「録画 / 再生 / 予約」-「予約」で微調整することができます。

予約の確認や変更をする

1 (予約＆結果リスト) をクリックする

通知領域の を右クリックして表示されるメニューから「予約＆結果リスト拡大表示」をクリックしても表示できます。

2 「予約リスト」タブをクリックする

予約一覧が表示される

チェック!!

実行中の予約録画を中断する場合は、通知領域にある を右クリックして表示されるメニューから「録画終了」をクリックしてください。

チェック!!

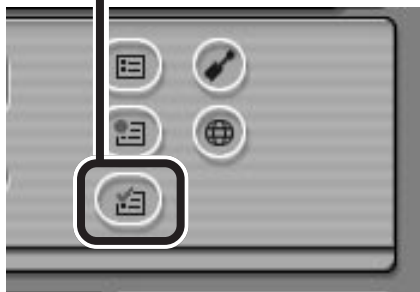
取 消 をクリックすると、予約を取り消せます。

予約実行中に終了時間を変更したい場合も、この画面で設定します。

7 変更内容を確認する

これで予約の変更ができました。

予約した録画が成功したか確認する

1 （予約＆結果リスト）をクリックする

2 「結果リスト」タブをクリックする

結果一覧が表示される

3 予約結果を確認する

結果一覧の記号の意味は次の通りです。

〇成功　：録画に成功したことを意味します

●失敗　：録画に失敗したことを意味します

通知領域のを右クリックして表示されるメニューから「予約＆結果リスト拡大表示」をクリックしても表示できます。

外出先から録画予約する

外出先で、録画を忘れたことに気がついた。急な用事で、番組の開始までに家に帰れない。そんなときに、携帯電話や外出先のパソコンからインターネットを通じてテレビ番組の録画予約ができます。

SmartVision TV録画予約サービスは、携帯電話や、インターネットのできるパソコンからテレビ番組の録画予約をするサービスです。

次の 2 つの方法があります。

● BIGLOBE のサービスを利用する方法

次のような方に向いています。
- BIGLOBE 会員の方
- i モード機能付きの携帯電話をお使いの方
- 省電力でパソコンを使いたい方
- 必要に応じてインターネットに接続している方（常時接続していない方）

この方法では、1 日数回、設定した時間にのみ予約が反映されます。

●ドット・ゲートサービスを利用する方法

次のような方に向いています。
- ドット・ゲートサービスを利用できる環境にある方

この方法では、いつでも予約を反映することができます。
ただし、インターネットに常時接続しておく必要があります。

参照
「ドット・ゲートサービス」について
→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50 音別目次」

SmartVision TV録画予約サービス（BIGLOBE 用）

「SmartVision TV録画予約サービス（BIGLOBE用）」は、i モードや外出先のパソコンからテレビ番組の録画予約を行うサービスです。
SmartVision TV録画予約サービス（BIGLOBE用）をご利用になる場合は、次のことに注意してください。

- モデムやLAN、ISDNターミナルアダプタを利用したインターネット接続環境が必要です。
- この機能を利用するには、管理者権限を持つユーザーでログオンしてから省電力状態にしてください。また、SmartVision の予約機能のパスワードが設定されている必要があります。
- BIGLOBE にアクセスするための電話料金とプロバイダ料金および、i モード携帯電話のパケット通信料はお客様の負担となります。
- 「SmartVision TV録画予約サービス（BIGLOBE用）」を利用するには、あらかじめパソコンを省電力状態にしておく必要があります。

参照

「パスワード」について→PART1の「Windows のパスワードを設定する」（p.7）、「SmartVision にパスワードを設定する」（p.21）。

●申し込みと準備

BIGLOBE に入会する

「SmartVision TV録画予約サービス BIGLOBE 用）」を利用するには、BIGLOBE に入会している必要があります。

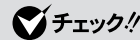
サービスの申し込みをする

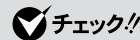
BIGLOBE へのサービスご利用申し込み（ユーザー登録）は、インターネットで行います（無料）。
「SmartVision TV録画予約サービス」のホームページ（http://wakeup.cplaza.ne.jp/wapi/info/index.html）にアクセスし、説明をよくお読みになったうえで、お申し込みを済ませてください。

パソコンの設定を行う

パソコンが定期的に休止状態（または、スタンバイ状態）から復帰して、BIGLOBE のサーバと予約情報のやりとりをするように、パソコンを設定する必要があります。
また、テレビ番組表を使って録画予約をする場合は、自宅のパソコンにテレビ番組表を受信しておく必要があります。
設定は「SmartVision TV録画予約サービスクライアント」の「TV録画予約クライアント設定」で行います。詳しくは、「SmartVision TV 録画予約サービス取扱説明書」をご覧ください。

準備完了

チェック!!

BIGLOBE の法人会員の方はご利用になれません。
また、すでに BIGLOBE 以外のインターネットプロバイダーとご契約されている場合は、月額基本料金無料の BIGLOBE「コンテンツコース」でご利用可能です。

チェック!!

「SmartVision TV録画予約サービスクライアント」は、購入時にはインストールされていません。「ソフトナビゲーター」で「TV 録画予約（BIGLOBE 用）」を選んでインストールしてください。

参照

「SmartVision TV録画予約サービス取扱説明書」について→「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision TV録画予約サービスクライアント」-「SmartVision TV録画予約サービス取扱説明書」

●毎回ご利用時

サービスを利用するには、パソコンを省電力状態にして外出します。

外出先で録画予約のページにアクセスする

iモード携帯電話やパソコンを使って、外出先で「SmartVision TV録画予約 ユーザ認証」のページ（利用申し込み時に発行される専用のURLです）にアクセスします。あなたのアクセスキーを入力するとメインメニューが表示されます。録画予約はそこで行います。

パソコンが自動的にBIGLOBEのサーバにアクセスし、予約を確認する

「TV録画予約クライアント設定」で指定した時刻になると、自宅のパソコンが自動起動し、BIGLOBEのTV録画予約サーバにアクセスして録画予約情報をダウンロードします。
予約が入っていた場合、予約内容の通りにパソコンが番組を録画します。

「TV録画予約クライアント設定」で設定した時刻に予約をチェックするため、設定時刻を過ぎると録画予約をすることができません。また、録画予約の有無にかかわらずBIGLOBEにアクセスしますので、その分の電話料金やプロバイダ料金が別途かかります。

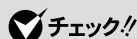
SmartVision TV録画予約サービス（ドット・ゲートサービス用）

「SmartVision TV録画予約サービス（ドット・ゲートサービス用）」は、携帯電話や外出先のパソコンからテレビ番組の録画予約を行うサービスです。このサービスを利用すると、自宅のパソコンのSmartVisionを利用して、いつでも録画予約ができます。
SmartVision TV録画予約サービス（ドット・ゲートサービス用）をご利用になる場合は、次のことに注意してください。

- ドット・ゲートサービスをご利用になれる環境が必要です。
  - コンピュータの管理者の権限を持ったユーザーでログオンしてあること
  - ADSL回線で、インターネットへ常時接続していること
  - 常時パソコンの電源をオンにしておくこと

ドット・ゲートサービスについて詳しくは、「ドット・ゲートサービス設定ツール」をご覧ください。

参照

「ドット・ゲートサービス設定ツール」について→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」-「ドット・ゲートサービス」

チェック!!

複数のユーザーでパソコンをご利用の場合でも、ドット・ゲートサービスは一人のユーザーでしか利用できないため、一人分の予約設定しかできません。

●準備

パソコンの設定を行う

お使いのパソコンをドット・ゲートサービスが利用できるように設定します。詳しくは、「ドット・ゲートサービス設定ツール」をご覧ください。

●外出先から

ドット・ゲートサービスが利用できる状態にして外出します。

外出先から自宅のパソコンにドット・ゲートサービスを利用してアクセスする

iモード携帯電話やパソコンを使って、外出先から自宅のパソコンにドット・ゲートサービスを利用してアクセスします。「TV録画予約」を選択して、録画予約を行います。

パソコンが自動的に録画を開始する

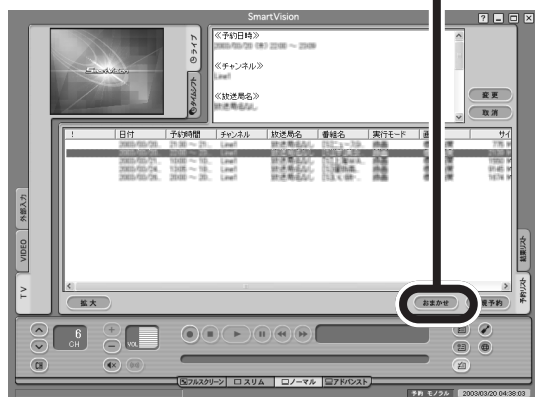
予約した時間になったら、予約内容の通りにパソコンが番組を録画します。

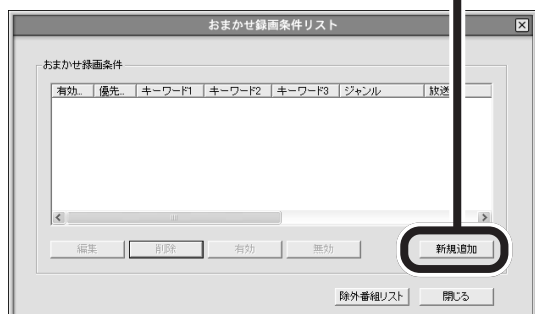
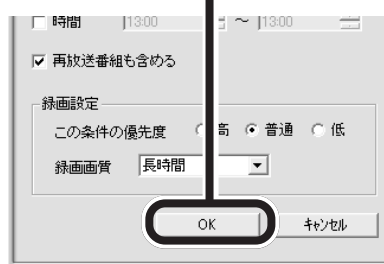
おまかせ録画機能で録画する

キーワードやジャンルなどをあらかじめ決めておくと、番組表の情報から条件にマッチした番組を録画することができる機能です。

条件を登録する

おまかせ録画機能を使うには、あらかじめ条件を登録しておく必要があります。

1

2 「おまかせ」をクリックする

「おまかせ録画条件リスト」が表示されます

番組リストを選びクリックして、次に「除外番組」をクリックするとその番組はおまかせ録画から除外されて、録画予約されません。また、「除外番組リスト」をクリックすると、おまかせ録画から除外されている番組のリストを見ることができます。

おまかせ録画の設定は終了です。

- おまかせ機能で条件検索した番組はすべて録画されるわけではありません。以下の場合は、番組録画されません。
- 同じ時間帯に条件が一致する番組が複数存在する場合は、どれか1つの番組が録画されます。
- すでに設定してある予約録画番組と時間帯が重なっている場合は、録画されません。
- 除外番組リストに登録されている番組の場合は、予約録画されません。

参照

おまかせ録画機能について詳しくは、SmartVisionのオンラインヘルプをご覧ください。

PART

5

映像を編集する

テレビやデジタルビデオカメラで撮影した映像を、このパソコンに取り込んでみましょう。パソコンに取り込んだ動画は、DVD-Video やVideoCDを作成したり、電子メールに添付して送るなど、楽しい使い方ができます。

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

動画編集の流れ

SmartVision で録画したデータを編集する

録画データを準備する

SmartVision

データを開く

録画した番組を簡単に編集する

DVD MovieWriter

DVD MovieWriter では、取りこんだ映像の要らない部分を取り除くなどの作業（トリミング）ができます。

細かな編集をする

VideoStudio

VideoStudioでは、トリミングはもちろん、映像にテキストを埋め込んだり、その他様々な効果を加えたりすることができます。

DVD-Video や VideoCD を作成する、メニュー画面を作成する

DVD MovieWriter

DVD-Video や VideoCD は DVD MovieWriter で作成します。

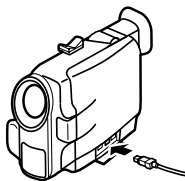
DVD-Video や VideoCD として保存する

保存した DVD-Video や Video CD は、このパソコンで再生できます。また、市販の DVD プレーヤの多くでも再生できます。

編集した番組を SmartVisionにインポートすることもできます。詳しくは、PART3 の「インポート機能を使う」(p.61) をご覧ください。

デジタルビデオカメラの映像を編集する

データを準備する

デジタルビデオカメラで録画する操作について詳しくは、各デジタルビデオカメラのマニュアルをご覧ください。

データを取り込む

シーンを削除する

DVD MovieWriter

DVD MovieWriterでは、取りこんだ映像の要らない部分を取り除くなどの作業（トリミング）ができます。

映像にエフェクトをかける

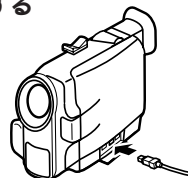
VideoStudio

VideoStudioでは、トリミングはもちろん、映像にテキストを埋め込んだり、その他様々な効果を加えたりすることができます。

DVD-VideoやVideoCDを作成する、メニュー画面を作成する

DVD MovieWriter

DVD-VideoやVideoCDはDVD MovieWriterで作成します。

編集データをデジタルビデオカメラでテープなどに保存する

DVD-VideoやVideoCDとして保存する

保存したDVD-VideoやVideoCDは、このパソコンで再生できます。また、市販のDVDプレーヤーの多くでも再生できます。

デジタルビデオカメラからの取り込みや編集には、SmartHobbyを利用することもできます。
SmartHobbyについて詳しくは、「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50音別目次」をご覧ください。

録画したデータをVideoStudioで編集する

ここでは、SmartVisionで録画した番組データを、VideoStudioで編集する手順を説明します。

参照

- デジタルビデオカメラから映像を取り込んで編集する方法について→「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「DVD映像」
- ビデオデッキから映像を取り込んで編集する方法→このPARTの「ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する」(p.96)

VideoStudioで編集する

SmartVisionで録画した映像は、エクスポートしてVideoStudioで編集できます。DVD MovieWriterを使っても編集できますが、ここではより高度な編集ができるVideoStudioでの手順を紹介します。

参照

- VideoStudioの詳しい使い方→VideoStudioのオンラインヘルプ
- エクスポートの方法→PART3の「録画データを分割する」(p.54)

1 「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「映像の編集」-「VideoStudio」-「このソフトを使う」をクリックする

VideoStudioが起動します。

2 (設定とコマンド)をクリックして、表示されたメニューから「テンプレートマネージャ」をクリックする

「テンプレートマネージャ」が表示されます。

3 テンプレートを選択する

テンプレートの種類は、次ページの表で確認してください。

たとえば、後で高画質で録画したデータをDVD-VideoとしてDVD-R/RWに保存するときは「DVD作成 TV録画 高画質(720×480)ファイル用」を選びます。
VideoCDとしてCD-R/RWに保存するときは「VideoCD 352×240 NTSC(29.97fps)」を選びます。

4 「閉じる」をクリックする

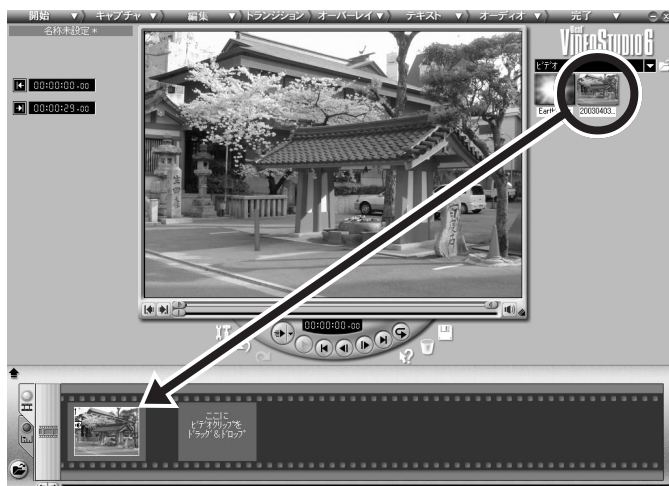
テンプレートは、ビデオを取り込んだり、保存するために必要な設定が保存されるファイルです。
テンプレートは、次のように選択してください。
ビデオカメラからのキャプチャの場合、「NTSC」の形式をおすすめします。テンプレートは、作業効率や最終ムービーの形態など目的によって適切なものを選択してください。詳しくは、VideoStudioのヘルプをご覧ください。
「NTSC」はテレビ放送の映像信号の方式です。「NTSC」は、おもに日本や北米で使用されています。
「f/s」や「fps」は、1秒間に表示するフレーム数のことです。日本の現行のテレビ放送（NTSC）は30フレーム／秒、映画は通常24フレーム／秒で動いています。

編集素材と使用用途		選択するテンプレート
デジタルビデオカメラから入力して編集した後、デジタルビデオカメラ等へ出力するとき		AVI:720×480(29.97f/s)DV NTSC
デジタルビデオカメラから入力して編集した後、DVD MovieWriterでDVD-Videoを作成するとき		DVD作成 DVカメラ入力(720×480)ファイル用
デジタルビデオカメラ入力以外の画像を編集した後、DVD MovieWriterでDVD-Videoを作成するとき		DVD作成 352×480 NTSC(29.97fps)または DVD作成 720×480 NTSC(29.97fps)
SmartVisionで録画したデータを編集し、DVD MovieWriterでDVD-Videoを作成するとき	高画質で録画したデータ	DVD作成 TV録画 高画質(720×480)ファイル用
	標準画質で録画したデータ	DVD作成 TV録画 標準画質(720×480)ファイル用
	長時間で録画したデータ	DVD作成 TV録画 長時間(352×480)ファイル用
SmartVisionで録画したデータをMPEG2として編集するとき	高画質で録画したデータ	DVD作成 TV録画 高画質(720×480)ファイル用
	標準画質で録画したデータ	DVD作成 TV録画 標準画質(720×480)ファイル用
	長時間で録画したデータ	DVD作成 TV録画 長時間(352×480)ファイル用
デジタルビデオカメラ入力以外の画像を編集した後、MPEG2形式のファイルにするとき		MPEG2 640×480 NTSC(29.97fps)など(画像サイズは任意のものを選択してください)

7 編集したいファイルを選択する

8 「開く」をクリックする

メッセージが表示されることがありますが、メッセージの内容をよく読んで、問題がなければ「はい」をクリックしてください。

9 開いた映像を「ストーリーモードボード」欄にドラッグ&ドロップする

これで、録画したデータファイルがVideoStudioに読み込まれました。
VideoStudioのヘルプをご覧になって、番組データを編集してください。

編集したデータを保存する

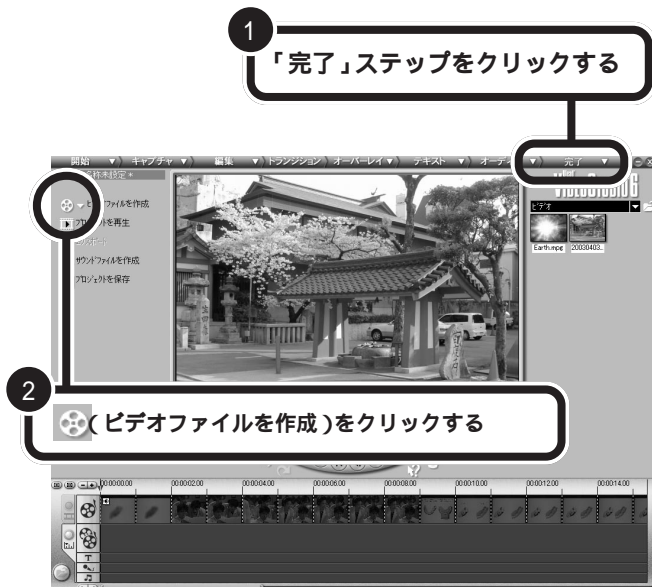
VideoStudio で編集したデータを保存します。保存したデータは DVD MovieWriterでDVD-Video、VideoCDとして保存することができます。

VideoStudio ではこの他にも、デジタルビデオ、Webページ、E-mail、グリーティングカードにエクスポートすることもできます。
エクスポートする方法について詳しくは、「ぱそガイド」-「アプリケーションの紹介と説明」-「50 音別目次」-「VideoStudio」をご覧ください。

1 「完了」ステップをクリックする

2 （ビデオファイルを作成）をクリックする

3 「ファイル名」を入力する

4 **保存する場所を確認して「保存」をクリックする**
ビデオファイルが保存されます。

5 **VideoStudio を終了します**
次回またVideoStudioで編集する場合は、終了する前に「プロジェクトの保存」をクリックして、プロジェクトを保存してください。

次に DVD-Video や VideoCD を作成します。

DVD MovieWriterでDVD-Video、VideoCDを作成する

編集した映像をもとに、DVD MovieWriterで、メニュー画面をつけてDVD-Video、VideoCDを作成しましょう。

ここでは、DVD-R/RWにDVD-Videoとして、またはCD-R/RWにVideoCDとして保存する方法を説明します。

メニュー画面を作成する

VideoStudioで保存したデータに、DVD-Video用、VideoCD用のメニュー画面を作成します。

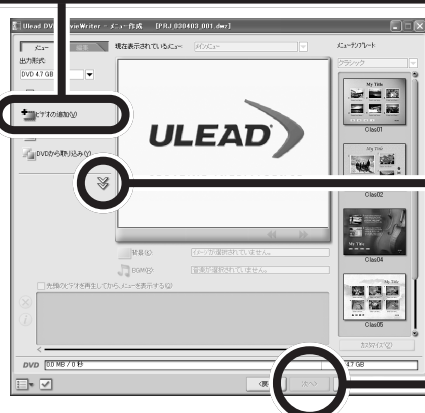
1 「ソフトナビゲーター」の「名前で選ぶ」-「映像」-「映像の編集」-「DVD MovieWriter」-「このソフトを使う」をクリックする

DVD MovieWriterが起動します。

2 「新規にDVDを作成する」が選ばれているのを確認する

3 「次へ」をクリックする

4 「ビデオの追加」をクリックして、「編集したデータを保存する」（p.91）で保存したデータを開く

DVD MovieWriterでは、好きな背景を入れたり、ボタンをレイアウトして、メニュー画面を作成できます。詳しくは、DVD MovieWriterのヘルプをご覧ください。

5 をクリックして表示される指示にしたがってメニュー画面を作成する

メニュー画面が必要でない場合は、「次へ」をクリックして次の画面に進んでください。

6 「次へ」をクリックする

7 をクリックして、プレビューで出来上がりを確認する

8 「次へ」をクリックする

次にDVD-R/RWやCD-R/RWに保存します。

DVD-VideoやVideoCDとして保存する

作成したデータをDVD-VideoやVideoCDとして保存しましょう。

1 DVD-R/RWまたはCD-R/RWをCD/DVDドライブにセットする

2 （作成開始）をクリック

あとは画面の指示にしたがってDVD-VideoやVideoCDを作成してください。

●DVD MovieWriterでDVD形式のビデオデータを扱うときの注意

DVD MovieWriterでDVD形式のビデオデータを扱うときは、次のことを注意してください。

- DVD-RやDVD-RWに保存できる映像は、約67分（8Mbps）～約117分（4Mbps）程度です。保存する内容により、記録できる時間は短くなることがあります。
- DVD MovieWriterのビデオ保存オプションのオーディオの設定でLPCM（リニアPCM）を選択した場合、元のMPEG2ファイルよりも約20%程度容量が増加することがあります。
- DVD-R/RWにビデオを保存すると、空き容量が残っていてもそのディスクには追加保存できません。
- DVD MovieWriterは、DVD-RAMには対応していません。
- DVD-RやDVD-RWに保存したビデオは、家庭用DVDプレーヤやDVD-ROMドライブ搭載のパソコンで再生できますが、一部のDVDプレーヤ、DVD-ROMドライブでは再生できないことがあります。また、ディスクやプレーヤの状態により再生できないことがあります。
- DVD-R/RWドライブは、DVD-R for General Ver.2.0およびDVD-RW Ver.1.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。DVDレコーダ/プレーヤでの記録・再生については、DVDレコーダ/プレーヤがこれらの規格に準拠しているかをご確認ください。
- ディスクの状態（記録メディアの特性、キズ、汚れなど）や、ドライブの状態等によっては、正常に書き込みできない場合があります。

チェック!!

- DVD-R/RWに保存できるのは、DVD-R/RWへの書き込みに対応したドライブを搭載しているモデルの場合だけです。
- 作成が完了すると、自動的にドライブからディスクトレイが出てきます。その後「操作を完了しました。」のメッセージが表示されるまで、10秒程度かかる場合があります。
- 作成したDVD-Video、VideoCDを再生する前にDVD MovieWriterを終了してください。

●DVD MovieWriterでVideoCDとして保存するときの注意

DVD MovieWriterでVideoCDとして保存するときは、次のことを注意してください。

- CD-R/RWに保存できる映像は、約60分程度です。保存する内容により、記録できる時間は短くなることがあります。
- CD-R/RWにビデオを保存すると、空き容量が残っていてもそのディスクには追加保存できません。
- CD-R/RWに保存した場合、一部の家庭用DVD/VideoCDプレーヤでは再生できないことがあります。

VideoCD形式で保存する場合は、画質は劣りますが長時間のデータを保存することが可能です。

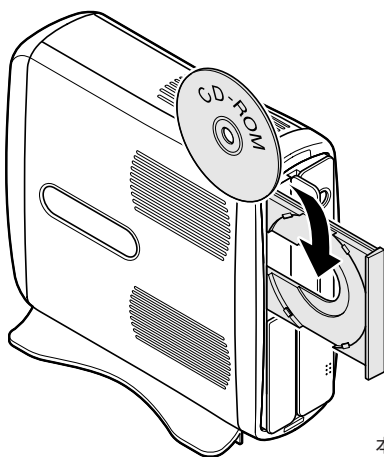
●アナログキャプチャ時の注意（外部機器からの映像取り込み）

DVD MovieWriterでアナログキャプチャする場合は、パソコン本体の背面にある映像／音声入力端子と接続してください。

DVD-Video、VideoCDを再生する

「DVD MovieWriter」で作成したDVD-Video、VideoCDは「WinDVD 4」で再生します。

保存したDVD-Video、VideoCDはWinDVD 4で再生できます。

保存したDVD-Video、VideoCDをCD/DVDドライブにセットする

本体の形状は、モデルにより異なります。

WinDVD 4が起動します。

チェック!!

- SmartVisionなど、WinDVD 4以外の映像を表示するソフトが起動していると、WinDVD 4でのDVD-VideoやVideoCDの再生はできません。
- DVD-Video、VideoCDをドライブにセットしたときに「Windowsが実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示された場合は、「DVDムービーの再生 InterVideo WinDVD使用」を選択し、「常に選択した動作を行う。」の□をクリックして☑にし、「OK」をクリックしてください。
  この設定を行った後は、DVDやVideoCDをセットすると自動的にDVDやVideoCDが再生されるようになります。

WinDVD 4について詳しくは、「ぱそガイド」またはWinDVD 4のオンラインマニュアルをご覧ください。

ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する

SmartVisionでは、ビデオデッキやアナログビデオカメラと接続してその映像をハードディスクに録画できます。

チェック!!
コピー防止信号が含まれている映像を録画することはできません。コピー防止信号が検出された場合、自動的にライブモードに切り替わります。

用意するもの

パソコンを接続する機器によって必要なものが異なります。市販のS映像用ケーブル(または映像用ケーブル)と市販の音声用ケーブル(ステレオミニプラグ - ピンプラグ× 2) を使って接続します。

チェック!!
モデルにより必要なケーブルは異なります。

S 映像用ケーブル
(または映像用ケーブル)

音声用ケーブル
(ステレオミニプラグ・ピンプラグ X2)
または
(ミニピンプラグ X2)

接続する

このパソコンとビデオデッキなどを接続します。
本体の形によって、接続場所が違います。お使いのパソコンの形状を見てお使いのパソコンのシリーズ名を確認してから接続してください。

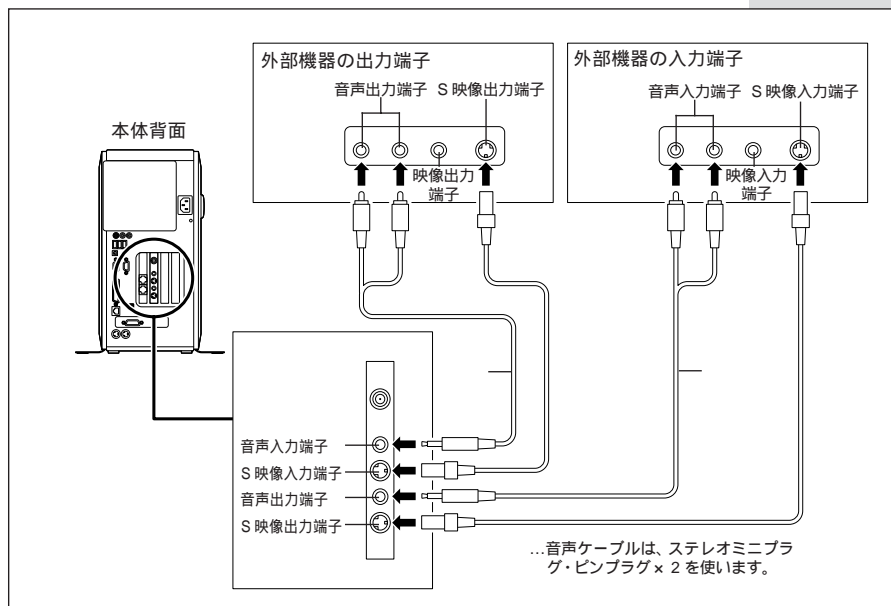
●本体とビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する

VALUESTAR TX、FZ シリーズの場合

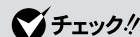
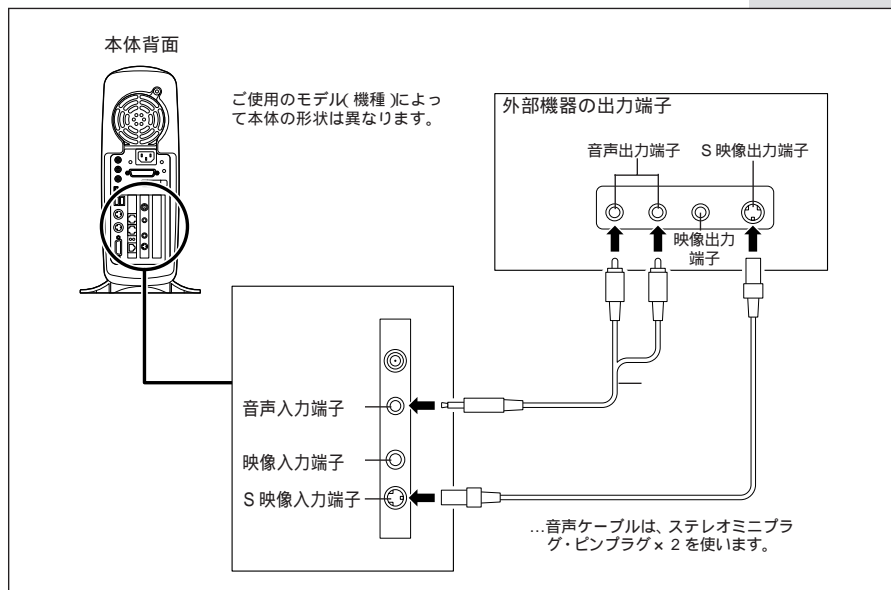
接続した機器の映像を SmartVision で録画したいときは、機器の出力端子とパソコンの入力端子を接続します。

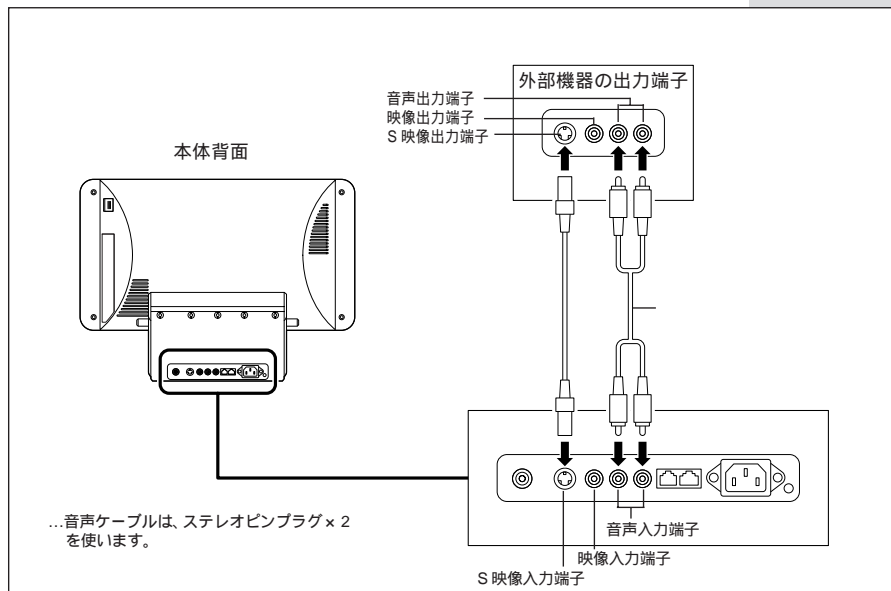
SmartVision の映像を接続した機器で録画したいときは、機器の入力端子とパソコンの出力端子を接続して、機器の出力端子とテレビを接続します。

外部機器の接続について詳しくは、各機器に添付のマニュアルをご覧ください。

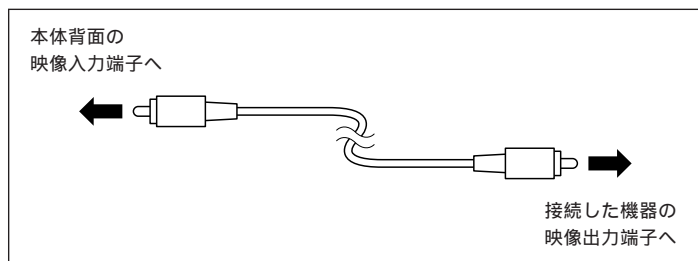
VALUESTAR TX 、FZ シリーズでは、パソコン本体前面の映像／音声入力端子と接続することもできます。その場合、音声ケーブルはステレオピンプラグ× 2 を使います。

VALUESTAR L、F、T シリーズの場合

機器の出力端子とパソコンの入力端子を接続して、機器の映像を SmartVision で録画します。VALUESTAR L、F、T シリーズでは SmartVision の映像を外部の機器に録画することはできません。

チェック!!

BS モデルをお使いの場合、BSデジタルチューナーボードにも音声出力端子、S 映像出力端子が付いています。間違わないように、地上波 TV＆ データボードの端子に接続してください。

VALUESTAR FS シリーズの場合
機器の出力端子とパソコンの入力端子を接続して、機器の映像をSmartVision で録画します。
VALUESTAR FS シリーズでは SmartVision の映像を外部の機器に録画することはできません

こんなときは

S 映像出力端子のない外部機器につなぎたい

市販の映像ケーブルを使って、本体背面の映像入力端子と接続した機器の映像出力端子を接続します。

VALUESTAR TX、FZ シリーズの場合、添付されているVIDEO変換コネクタが必要になります。
市販の映像用ケーブルと添付の変換コネクタを接続してください。

ビデオの映像を SmartVision で録画する

ここでは例として、ビデオデッキの映像を SmartVision で録画する方法を説明します。

SmartVision を起動する

2

「外部入力」タブをクリックする

録画したデータを後で編集する場合は、録画する画質の確認が必要です。設定ウィンドウの「録画 / 再生 / 予約」-「録画 / タイムシフト」タブで画質を選択してください。

3

ビデオデッキで、ビデオを再生する

ビデオの映像がパソコンに表示されます。

4

（録画）をクリックする

ビデオの録画が始まります。

チェック!!

コピー防止信号が含まれている映像を録画することはできません。コピー防止信号が検出された場合、録画やタイムシフトを中止し、自動的にライブモードに切り替わります。

参照

編集目的で録画するときの画質について→ PART3 の「録画について」（p.42）

5 録画を終了するときは■（停止）をクリックする

ビデオの映像を録画するときも、テレビと同じようにタイムシフト機能が使えます。詳しくは、「PART3　録画と再生をする」をご覧ください。
ここで録画したデータは、SmartVision で録画した番組と同じように編集できます。録画したデータの編集方法については、この PART の「録画したデータを VideoStudio で編集する」（p.88）で確認してください。

編集した映像をホームネットワークで配信する
（VALUESTAR T、TX、FZシリーズのみ）

ホームネットワークに接続したパソコンに映像を配信してみましょう。

ホームネットワークに接続した他のパソコン（映像を受けとるクライアントパソコン）に「SmartVision/PLAYER」をインストールすることによって、このパソコン（映像を配信するサーバパソコン）で録画した番組をクライアントパソコンで視聴したり、クライアントパソコンからこのサーバパソコンに録画予約ができるようになります。また、サーバパソコンで受信している番組を視聴することもできます。

「SmartVision/PLAYER」を利用できるパソコン

「SmartVision/PLAYER」は、PC-98NXシリーズの次の条件のパソコンで動作します。

必須環境

対象OS		
Windows Me	Windows XP Home Edition	Windows XP Professional

CPU	MPEG4	標準画質	高画質
Pentium4	500MHz以上	733MHz以上	1GHz以上
Pentium III	500MHz以上	733MHz以上	1GHz以上
Celeron	633MHz以上	900MHz以上	1.2GHz以上
Athlon	700MHz以上	900MHz以上	1200+MHz以上
Duron	700MHz以上	900MHz以上	1.2GHz以上

メモリ	DirectX	VRAM容量
128Mバイト以上	DirectX8.1以上実装環境	8Mバイト以上
（Windows XPは256Mバイト以上推奨）		（16Mバイト以上推奨）

LAN環境	
LAN（10BASE-T/100BASE-TX）	ワイアレスLANで直接接続（IEEE802.11aでのインフラストラクチャ接続または、アドホック接続・IEEE802.11 bでのアドホック接続）
※MPEG2配信は、100Mbps環境推奨	

チェック!!

コピー防止信号が含まれている映像を配信することはできません。コピー防止信号が検出された場合、自動的に、配信を停止します。

チェック!!

サーバーパソコンは、VALUESTAR T、TX、FZシリーズのみです。その他のシリーズでは、サーバーパソコンとしてご利用できません。

チェック!!

すでにSmartVision/PLAYERがインストールされている場合は、そのSmartVision/PLAYERを一度、アンインストールして、新たに本製品に添付されているSmartVision/PLAYERをインストールしてください。

サーバパソコンから映像を配信するときは、10BASE-T規格やIEEE802.11b規格などの低速な環境では、画像が乱れたり、高画質では視聴できないなどの障害が発生することがあるので、100BASE-TX規格やIEEE802.11a規格などの高速なLAN環境で利用することをおすすめします。

クライアントパソコンでテレビを楽しむまでの流れ

ホームネットワークを使って、サーバパソコンからクライアントパソコンに「SmartVision/PLAYER」をインストールする

サーバパソコンで、「SmartVision/SERVER」の設定をする

クライアントパソコンで、「SmartVision/PLAYER」の設定をする

チェック!!

- 2003年5月以降のTVチューナ搭載モデルには、SmartVisionにネットワーク機能が付いています。SmartVision/PLAYERをインストールする必要はありません。
- クライアントパソコンで「SmartVision/PLAYER」の設定をするの部分は、TVチューナ搭載モデルの場合、「SmartVision」の設定をするに置き換えてお読みください。

「SmartVision/PLAYER」をインストールする前に

「SmartVision/PLAYER」をクライアントパソコンにインストールする前にNorton AntiVirus(ウイルス対策ソフト)の設定を変更してください。

参照

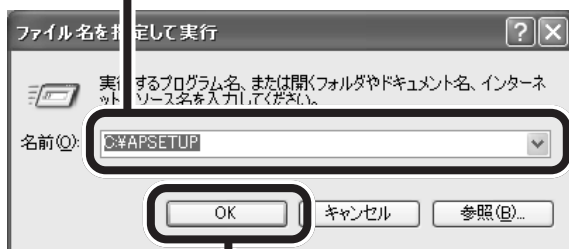
Norton AntiVirusの設定方法→PART1の「Norton AntiVirusの設定を変更する」(p.11)

「SmartVision/PLAYER」をインストールする

ホームネットワークを使って、サーバパソコンからクライアントパソコンに「SmartVision/PLAYER」をインストールします。

サーバパソコンでの操作になります

1 サーバパソコンで、「スタート」-「ファイル名を指定して実行」をクリックする

2 「名前」欄に「C:\APSETUP」とキーボードを使って入力する

3 「OK」をクリックする

4 「SVISION」フォルダを右クリックして、表示されるメニューから「共有とセキュリティ」をクリックする。

5 「ネットワーク上でこのフォルダーを共有する」をクリックして☑にして、「OK」をクリックする

参照

・LANの設定について→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「LANの設定」
・ホームネットワークについて→「ぱそガイド」-「パソコンの設定」-「ネットワークの設定」-「ホームネットワークアシスタント」

チェック!!

画面に「危険を認識した上で、ウィザードを使わないでファイルを共有する場合はここをクリックしてください。」と表示された場合は、この文字をクリックして、表示される画面で「ファイル共有を有効にする」を◉にして「OK」をクリックしてください。

クライアントパソコンでの操作になります

ネットワークに接続されているクライアントパソコンで「svision-×××(×××には、サーバパソコンのコンピュータ名が表示されます)」フォルダをダブルクリックして開く

- **Windows XP Home EditionやWindows XP Professionalの場合**

「svision-×××(×××には、サーバパソコンのコンピュータ名が表示されます)」は、「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット接続」をクリックして、画面左に表示される「関連項目」欄から「マイネットワーク」をクリックすると画面に表示されます。

- **Windows Meの場合**

「svision-×××(×××には、サーバパソコンのコンピュータ名が表示されます)」は、デスクトップに表示されている、「マイネットワーク」をダブルクリックすると画面に表示されます。

2 「Setup.exe」ファイルをダブルクリックする

「SmartVision/PLAYER」のインストールがはじまります。また、「SmartVision/PLAYER」のインストール直後、画面右下にアプリケーション警告の画面が表示されます。ここで「選択した結果を保存する」を☑して、「はい」をクリックすると、次回以降「SmartVision/PLAYER」を起動したときに、この画面は表示されません。

チェック!!

Windows XP Home EditionやWindows XP Professionalがインストールされているパソコンに「SmartVision/PLAYER」をインストールするためには、あらかじめコンピュータの管理者権限を持ったユーザーでログインしている必要があります。制限つきアカウントのユーザーでは、ご利用になれません。

チェック!!

SmartVision Ver2.0をご使用の場合、本製品に添付されているSmartVision/PLAYER Ver2.1を上書きインストールできません。

サーバパソコンの「SmartVision/SERVER」の設定をする

「SmartVision/PLAYER」のインストールが終了したら、続いてサーバパソコンの「SmartVision/SERVER」の設定を行います。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「SmartVision/SERVER」をクリックする**

2 **通知領域に表示される をダブルクリックする**

3 **「サーバ名」欄にサーバ名を、「パスワード」欄にパスワードをそれぞれ入力して、ネットワークTV配信の設定を選んで、「OK」をクリックする**

チェック!!

特に必要がないかぎりポート番号は変更しないでください。

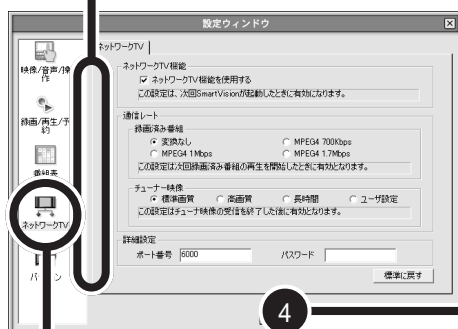
クライアントパソコンで「SmartVision/PLAYER」の設定をする

「SmartVision/SERVER」の設定が終了したら、クライアントパソコンで「SmartVision/PLAYER」の設定を行います。

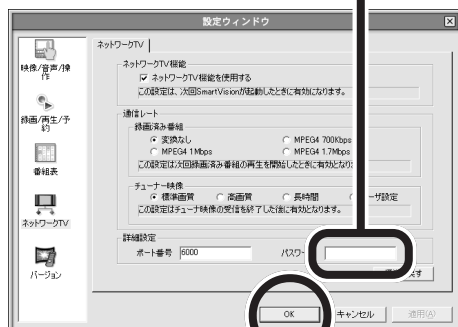
2003年5月以降のTVチューナー搭載モデルの場合は、「SmartVision」をクリックしてください。

1 **ホームネットワークに接続しているクライアントパソコンで、「スタート」-「すべてのプログラム」-「SmartVision」-「SmartVision/PLAYER」をクリックする**

2 **（設定）をクリックする。**
「設定ウインドウ」が表示されます。

3 （ネットワーク TV）が表示されていないときはスクロールバーをドラッグして、（ネットワーク TV）を表示させる

4 （ネットワークTV）をクリックする

5 「通信レート」欄から、配信方法と画質を選ぶ

6 「詳細設定」欄の「パスワード」欄に、パスワードを設定する

7 「OK」をクリックする

チェック!!

パスワードは、「サーバパソコンの「SmartVision/SERVER」の設定をする」(p.105) の手順3で設定したパスワードと同じものを入力してください。

チェック!!

手順7まで終了したら、「SmartVision/PLAYER」をいったん終了させてください。再び「SmartVision/PLAYER」を起動した後で、設定が有効になります。

クライアントパソコンから録画したテレビ番組を視聴する

「SmartVision/SERVER」と「SmartVision/PLAYER」の設定が終わったら、サーバパソコンで録画したテレビ番組をクライアントパソコンで視聴してみましょう。

1 サーバパソコンで「SmartVision/SERVER」を起動する

2 クライアントパソコンの「SmartVision/PLAYER」を起動する

「ネットワーク」欄に、ホームネットワーク上にあるサーバパソコンが表示されます

3 「ネットワーク」欄の中から、サーバパソコンのコンピュータ名のアイコンをクリックする

サーバパソコンで録画した番組が一覧表示されます

4 視聴したい番組をダブルクリックする

ポイント

「SmartVision/PLAYER」の操作について

「SmartVision/PLAYER」の操作は、基本的には、サーバパソコンでのSmartVisionの操作と同じです。ただし、SmartVision用のTVチューナが搭載されていないパソコンで「SmartVision/PLAYER」の場合、選択できるソースはVIDEOのみとなります。ここから録画番組の再生、タイムシフトでの番組配信などの機能を利用します。SmartVisionの操作方法について詳しくは、SmartVisionを起動し、画面上部にある ? をクリックして表示される画面をご覧ください。

チェック!!

サーバパソコンを複数のユーザーで使用している場合は、視聴したい録画番組のデータを持っているユーザーでログオンして、「SmartVision/SERVER」を起動してください。

チェック!!

映像が配信されると、サーバパソコンの通知領域にある のが に変わります。

チェック!!

SmartVision/SERVERの設定で、「ネットワークTV 配信の設定」を「配信優先」にしている場合、クライアントパソコンで再生中には、サーバパソコンのSmartVisionを起動しないでください。サーバパソコンでSmartVisionを起動するには、クライアントパソコンでSmartVision/PLAYERを終了し、サーバパソコンの通知領域のアイコンが変わってから行うようにしてください。

クライアントパソコンから、サーバパソコンに録画予約する

クライアントパソコンから、サーバパソコンに「番組表」を使って録画予約する方法を紹介します。

1 クライアントパソコンで「SmartVision/PLAYER 」を起動する

2 （番組表）をクリックする

3 「ネットワーク」欄で、サーバパソコンのコンピュータ名のアイコンをクリックする

サーバパソコンで取得している番組表が表示されます。

4 予約したい番組を選択し、ダブルクリックする

5 予約情報を確認し、「OK 」をクリックする

クライアントパソコンからタイムシフトモードのテレビ番組を視聴する

1 クライアントパソコンで「SmartVision/PLAYER 」を起動する

2 「ネットワーク」欄で、サーバパソコンのコンピュータ名のアイコンをクリックする

3 「フォルダ」欄で、「チューナ」アイコンをクリックする

4 視聴したいチャンネルをダブルクリックする

番組が表示されます。

チェック!!

- 「SmartVision/SERVER」が配信できる「SmartVision/PLAYER」は、同時に 1 台までです。
- コピーガード信号の入った映像は、配信できません。
- クライアントパソコンからは、手動で録画できません(予約録画をサーバパソコンに予約登録できます)。
- 音声付き変速再生は、MPEG4 画質を選択したときのみ有効です。
- ブックマークの登録／削除機能は、利用できません。
- エクスポート機能と簡易編集機能は、ネットワークに接続しているときは利用できません。これらの機能は、クライアントパソコンに録画データをコピーすると、利用できるようになります。
- 100BASE- TX 規格などの高速な LAN 環境で利用しているときでも、高画質またはユーザ設定で高いビットレートに設定している場合は、映像がスムーズに表示されなかったり、乱れることがあります。このようなことがないように、クライアントパソコンで録画済み番組の再生を行うときは、MPEG4 のビットレートを低く設定してください。また、サーバパソコンから配信したテレビ番組をタイムシフトモードで視聴するときは、標準画質にするなど画質を低く設定してください。

PART

6

TV モデル Q&A

テレビがうまく見られないときや添付アプリケーションがうまく動かないときは、このPARTをご覧ください。

テレビがうまく見られないときには

テレビを見ようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

テレビが映らない

アンテナは接続されていますか?

アンテナを接続してください。接続については、PART1の「アンテナ線を接続する」をご覧ください。

チャンネルは設定されていますか?

チャンネルを設定してください。設定についてはPART1の「チャンネルと番組表の設定をする」をご覧ください。

本体とディスプレイは正しく接続されていますか?

本体とディスプレイを正しく接続してください。接続については『はじめにお読みください』またはディスプレイのマニュアルをご覧ください。

他のアプリケーションが起動していませんか?

「VideoStudio」、「WinDVD 4」など、映像を表示するアプリケーションを同時に動作させることはできません。起動しているアプリケーションをいったん終了させた後、SmartVisionを起動してください。

ビデオ入力になっていませんか?

画面左にある切り替えタブが「外部入力」や「VIDEO」になっている場合は、「TV」タブをクリックしてください。

音が出ない、音が大きすぎる

スピーカの音量を調整してください。

スピーカの音は、液晶ディスプレイセットモデルの場合は、液晶ディスプレイのボリュームボタンまたはボリュームつまみで調整してください。
液晶ディスプレイ一体型モデルの場合は、リモコンまたはキーボードで音量調節を行ってください。

参照
音量の調整について→ PART2 の「音量を調節する」(p.39)

SmartVision で音量調節をしてください。

SmartVisionの+または−をクリックして、音量調整を行ってください。また、ミュート（消音）がかかっていないか確認してください。

リモコンまたはキーボードで音量調整を行ってください。

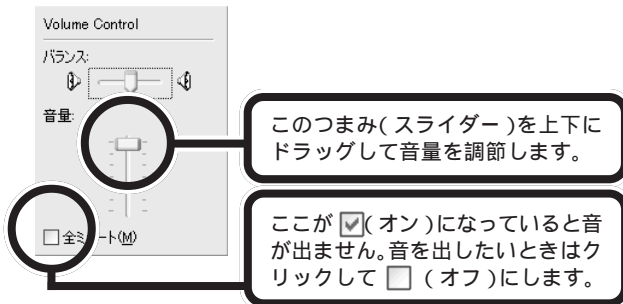
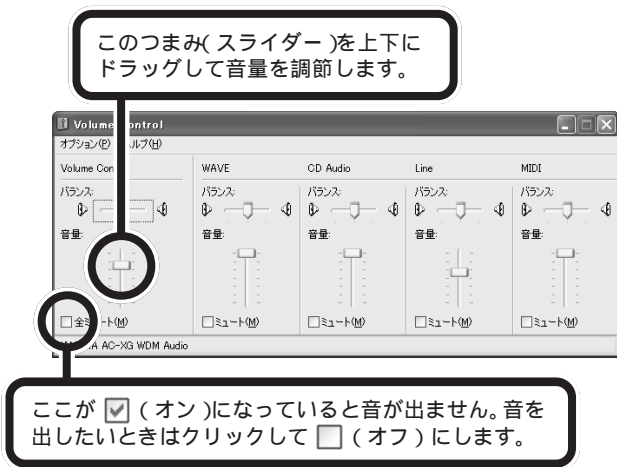
リモコンのボリュームボタン、キーボードのボリュームボタンで音量を調整してください。
また、Windows 側でミュート（消音）がかかっていないか、次の手順で確認して、ミュートをはずしてください。

1 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテイメント」-「ボリュームコントロール」をクリックする。

2 「Volume Control」画面で全ミュートが☑（オン）になっているときはクリックして□（オフ）にしてください。

「Volume Control」画面でミュート（消音）の確認と音量の調節をしてください。

1 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテイメント」-「ボリュームコントロール」をクリックする。

2 「Volume Control」画面で全ミュートが☑（オン）になっているときはクリックして☐（オフ）にしてください。

さらにスライダー（ ）を上下にドラッグして、音量を調節してください。調節したら、右上の ☒ ボタンをクリックして、画面を閉じてください。

チェック!!

タイムシフトモードとライブモードの音量が異なる場合は、「動画キャプチャでテレビやVTRの音声がキャプチャされない、SmartVisionで音が出ない」（p.119）の手順にしたがって音量を調節してください。

テレビの画面が白っぽい

ディスプレイの前面に「VISUAL ボタン」がある場合、「VISUALボタン」を押すと、色補正が行われ、メリハリのついた見やすい表示にできます。

SmartVisionが起動できない

他のユーザーでSmartVisionなどを起動したまま、ユーザー切り替えを行っていませんか？

SmartVision、ADAMSナビを起動したまま、Windowsのユーザー切り替えの機能で別のユーザーに切り替えると、そのユーザーではSmartVision、ADAMSナビを起動することはできません。

テレビを表示中やデータ放送の受信中に省電力状態にしようとしたら画面が表示されなくなった

次の場合は省電力状態にしないでください。

- SmartVision、ADAMSナビを起動中。
- テレビ番組表を受信しているときなど。

Windowsムービーメーカーでチャンネルの変更ができない

このパソコンでは、Windowsムービーメーカーでテレビを表示したとき、チャンネルを変更することはできません。テレビを見たり、録画をしたい場合は、SmartVisionで行ってください。

省電力状態にならない

が通知領域に表示されている場合は、省電力設定を行っても省電力状態になりません。

ネットワーク配信をしない時やしばらく席を離れる時は、通知領域のを右クリックして、メニューの中から「SmartVision/SERVER終了」クリックして、SmartVision/SERVERを終了させてください。

参照

VISUALボタンについて→液晶ディスプレイ一体型モデルの場合は『パソコン機能ガイド』、その他のモデルの場合は、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

視聴予約や録画予約ができないときには

テレビ番組表を受信するときや番組予約をしたときに問題が起きたときは、ここをご覧ください。

録画予約した番組が録画されていない

省電力状態やスクリーンセーバーから復帰するときのパスワードや、SmartVisionのパスワードは設定済みですか？また、スタンバイ状態から復帰するときにパスワード確認画面は表示しない設定になっていますか？

パスワードの設定がされていない場合、予約ができません。また、パスワードを設定していても、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面を表示する設定になっていると、パスワード入力がない場合に復帰ができないため、予約を実行できません。
Windows および SmartVision のパスワードを設定し、省電力状態やスクリーンセーバーからの復帰時にパスワードの確認画面が表示されない設定にしておいてください。

参照

- Windows のパスワードについて → PART1 の「Windows のパスワードの設定をする」（p.7）
- SmartVision のパスワードについて→ PART1 の「SmartVision にパスワードを設定する」（p.21）

「結果リスト」で予約実行結果を確認してください。

「結果リスト」に予約実行結果が表示されます。予約録画が失敗すると「結果」の欄に「●失敗」と表示されます。結果の詳細を見たい番組をクリックすると、画面上部に結果の詳細が表示されます。

参照

予約実行結果を確認する→ PART4 の「予約した録画が成功したか確認する」（p.77）

VIDEOリストに録画した番組が見あたらない

録画が失敗していませんか？

なんらかの事情で予約録画が失敗した場合は、録画番組一覧に表示されません。
予約録画が成功しているかどうかは、結果リストで確認することができます。

録画保存先フォルダを変更していませんか？

予約したユーザーの保存先フォルダが購入時の状態でも、予約録画を実行したユーザーの保存先が変更されている場合、VIDEO リストには録画した番組が表示されません。

「シークレット予約」で録画していませんか？

シークレット予約で録画すると、他のユーザーでログオンしたときには、番組名に「シークレット録画」と表示されます。録画したユーザーでログオンすると、番組名などが表示されます。

おまかせ録画をしていませんか？

おまかせ録画は、録画フォルダと異なるフォルダになります。また、おまかせ録画は、最大録画容量を超えた場合、過去に録画したファイルの中から古い順に削除していきます。削除したくない場合は、手動で予約録画するか、または、ビデオリストの中からおまかせ録画フォルダをクリックすると、おまかせ録画のファイルを見ることができます。消去したくないファイルを右クリックして、プロパティを表示させて、おまかせ録画のチェックボックスを外してください。

参照

予約実行結果を確認する→ PART4 の「予約した録画が成功したか確認する」（p.77）

動画や静止画をうまく取り込めないときには

動画や静止画をキャプチャしようとして問題が起きたときは、ここをご覧ください。

キャプチャできない

ハードディスクの空き容量が不足していませんか？

ハードディスクの空き容量を確認してください。
ハードディスクに、キャプチャした画像を記録するのに十分な空き容量がないと、キャプチャできないことがあります。
ハードディスクの空き容量を増やす方法については、「ぱそガイド」-「トラブル解決 Q&A」をご覧ください。

本体と外部ビデオ機器は正しく接続されていますか？

外部ビデオ機器からの映像をキャプチャしたい場合は、本体と外部ビデオ機器を正しく接続してください。

DVD-Videoの映像をキャプチャしようとしていませんか？

DVD-Videoのような、著作権保護用のコピー防止信号が含まれている映像は、このパソコンで録画することはできません。また、その映像をこのパソコンに入力し、このパソコンに接続したビデオ機器などに出力することもできません。

VideoStudio でキャプチャしようとしていませんか？

VideoStudio では、テレビの映像や TV ボードに接続されているビデオ機器の映像はキャプチャできません。

参照

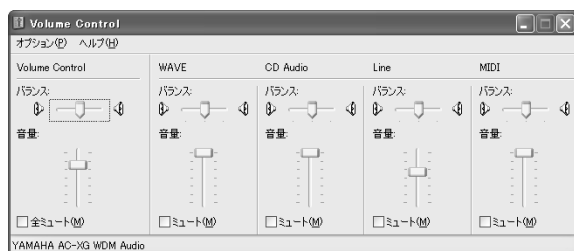
動画キャプチャの制限→ PART3 の「録画（動画キャプチャ）の制限について」（p.43）

チェック!!

通常は TV アプリケーション起動時取り込んだ静止画は、実際に表示されている画面と異なる縦横比率になることがあります。この場合は、ペイントなどの静止画編集ソフトを使用して、縦横比率を修正してください。

動画キャプチャでテレビやVTRの音声がキャプチャされない、SmartVisionで音が出ない

動画を取り込むときに音声が一緒に取り込めなかったときや、「SmartVision」で音が出ないときには、次の手順に従って「ボリュームコントロール」の設定を行ってください。

1 「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「エンターテイメント」-「ボリュームコントロール」の順にクリックする。
「Volume Control」画面が表示されます。

2 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックする。
「プロパティ」画面が表示されます。

3 「プロパティ」画面の「音量の調整」欄の「録音」の左の◯をクリックして◉にし、「表示するコントロール」の「Video」または、「CD Audio」に☑を付け、「OK」ボタンをクリックする。

4 「Recording Control」画面が表示されたら、「Video」の「選択」の□をクリックし、☑にする。

5 「Video」の欄の「音量」のつまみを上下にドラッグして録音レベルを調整する。

6 設定が終了したら、☒をクリックして「Recording Control」画面を閉じる。

取り込んだ動画の画質が悪い

添付のマイク内蔵USBカメラを使っていませんか?

添付のマイク内蔵USBカメラ(マイク内蔵USBカメラ添付モデルのみ)で取り込んだ動画は、IEEE1394接続された市販のデジタルビデオカメラから取り込んだ動画に比べて画質が劣ります。

キャプチャするときの設定を変更してください。

- 「SmartVision」の場合
  設定ウインドウの「録画/再生/予約」-「録画/タイムシフト」タブの「画質」を「高画質」に設定してください。ご購入時の設定は、「標準画質」になっています。
- 「VideoStudio」の場合
  - MPEGファイルを作成するとき
    「ビデオ保存オプション」の「カスタム設定」をクリックし、「圧縮速度」を「画質優先」にしてください。ご購入時の圧縮速度は「速度優先」になっています。
    「ビデオ保存オプション」ウインドウは、「完了」ステップで「ムービーを作成」ボタンをクリックした後、ファイルを保存する前に「オプション」ボタンをクリックすると表示されます。

チェック!!

通常はTVアプリケーション起動時に、自動的に「Video」に設定されます。音声が取り込めない場合は「Video」のボリュームが最小になっている可能性があります。

チェック!!

VALUESTAR T、TX、FZシリーズは、「Video」ではなく、「CD player」の「選択」をクリックして、☑にしてください。

ビデオからの映像が表示されない、音声が出ない

正しく接続されていますか?

パソコンとビデオデッキを接続するには、別売のビデオケーブルと音声ケーブルが必要です。正しく接続されているかどうか確認してください。

接続については、PART5の「ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する」(p.96)をご覧ください。

ビデオ入力になっていますか?

画面左にある「外部入力」タブをクリックしてください。

番組表などの受信がうまくいかないときには

番組表や、受信チャンネル設定時の地図情報を見ようとして問題が起きたときには、ここをご覧ください。

番組表の受信や、受信チャンネル設定時の情報は地上波データ放送で送られてきます。

受信できない、または、データの取りこぼしが起きる

SmartVisionが起動していると番組表が受信できないような設定になっていませんか？

次の設定を確認してください。

・設定ウィンドウの「番組表」-「TV番組表データ」タブで、「視聴中に番組表受信を行う」のチェックを外している場合はチェックする。

アンテナは正しく接続されていますか?

アンテナの接続を確認してください。アンテナの接続については、PART1の「アンテナ線を接続する」(p.2)をご覧ください。

アンテナの向きが悪い、またはアンテナとの接続が長くありませんか?

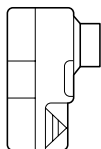
アンテナの向きを変えたり、アンテナとの接続を短くするなどの対策を行うと、受信状態が改善され、データの取りこぼしの頻度が低くなることがあります。

受信チャンネルは正しく設定されていますか?

設定を確認してください。設定方法についてはPART1の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.15)をご覧ください。

アンテナ線の接続に使用しているのはネジタイプのF型コネクタプラグですか?

アンテナケーブルとパソコン本体の接続には、ネジタイプのF型コネクタプラグを使用してください。他のものでは、正しく受信できない場合があります。

F型コネクタプラグの形状

ケーブルとF型コネクタプラグの接触が悪くなっていませんか?

PART1 の「アンテナ線を接続する」(p.2) をご覧になり、F型コネクタプラグを正しく取り付けてください。

地上波データ放送を行っているチャンネルになっていますか?

放送局によっては、同じ系列の放送局であっても、地上波データ放送を行っていない局もあります。この場合は、地上波データ放送を受信できません。
地上波データ放送を行っているかどうかについては、地元局に確認してください。

テレビ電波の状態の悪い場所ではありませんか?

地上波データ放送のサービスを受けられる場所であっても、以下のような場所では受信できないことがあります。
・ゴースト (二重映り) が多い場所
・電波が弱い場所
・極端に電波が強い場所

地上波テレビ放送以外のテレビ放送を利用していませんか?

「地上波テレビ放送以外のテレビ放送 (ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス)」では、地上波データ放送の対応を行っていない場合があり、地上波データ放送が受信できなかったり、アプリケーションが正常に動作しなかったりすることがあります。

番組表が受信できない

ADAMS 放送を受信できますか ?

番組表はADAMS放送の1コンテンツとして受信されます。ADAMS 放送が受信できることを確認してください。

番組表が2日分しか表示されない

ご利用の地域はどこですか ?

ご利用の地域によって、放送されている番組情報が異なります。現在、北海道、東京、名古屋、大阪、福岡以外の各地域では放送されている番組情報が2日分のため、番組表は2日分しか表示されません。

チェック!!

同時に受信できる放送局は 1 局のみです。データ放送の種別ごとに別々の放送局を受信することはできません。

参照

地上波データ放送について→付録の「地上波データ放送」(p.128)

チェック!!

電波が弱い場所で使用する場合は、ブースターを使用してください。また、ゴーストが多い場所で使用する場合は、ゴーストキャンセラーが必要です。ブースター、ゴーストキャンセラーの取り付けについては、お近くの電器店などにご相談ください。

チェック!!

ケーブルテレビをご利用の場合は、ADAMS放送等のデータ放送が受信可能かどうか、ご利用のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

参照

このPARTの「「ADAMS」の内容が更新されない」(p.124)

「ADAMS」の内容が更新されない

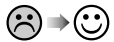
プリインストールコンテンツが表示されていませんか?

インターネットエクスプローラのアドレスに「C:\Documents and settings\All Users\Application Data¥NEC\ADAMS-P¥preinstl¥INDEX.HTM」と表示されている場合は、出荷時にハードディスク内に収められたサンプルページが表示されています。インターネットエクスプローラを終了させ、しばらく時間をおいてADAMSナビの更新状況を確認してから、ADAMSナビの「ADAMS」ボタンをクリックしてください。

ADAMSナビの更新情報が新しくなっていますか?

ADAMS放送を受信すると、ADAMSナビの更新状況が表示されます。すべてのコンテンツの更新状況が100%になった時点でADAMSボタンをクリックすると、インターネットエクスプローラが起動し、受信した最新情報が表示されます。

参照

更新情報→ADAMSナビのオンラインマニュアルの「更新情報一覧」

ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルが合っていますか?

ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルが合っていないと、ADAMS放送は受信されません。ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルを合わせてください。

ADAMSナビを起動し、ADAMSインジケータがアニメーションで表示されている場合、正しくADAMS放送を受信しています。

参照

ADAMS放送を受信できる放送局→PART1の「地上波の設定をする」(p.17)
ADAMS放送を行っている放送局にチャンネルを合わせるには→PART4の「番組表を自動受信できるようにする」(p.66)
チャンネルの設定→PART1の「チャンネルと番組表の設定をする」(p.15)

その他

SmartVisionのデータをバックアップしたい

バックアップ-NXでバックアップする場合、保存先の容量分しか保存できないため、長時間録画したデータを保存するときに、容量が足りなくなることがあります。
録画番組データは、SmartVision のエクスポート機能を使って、番組ごとに書き出して、映像のデータとして保存することでバックアップするようにしてください。

SmartVisionの録画番組データを他のパソコンへ移したい

SmartVisionの録画番組データを他のパソコンへ移すことはできません。
録画番組データを他のパソコンで見るときは、SmartVision のエクスポート機能を使って、データをDVD-R/RWやCD-R/RW に保存して映像データとして他のパソコンで再生してください。

参照

エクスポート機能について→PART3 の「録画データを分割する」(p.54)、「CD-R/RWやDVD-R/RW に保存する」(p.56)

付　録

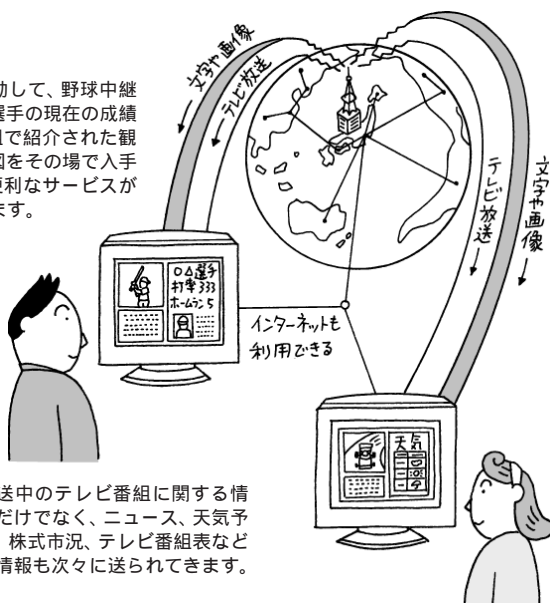
地上波データ放送についての簡単なご紹介とCATV ホームターミナルを利用してCATV 放送を見る方法をご覧ください。

地上波データ放送

このパソコンで利用できる地上波データ放送には、「ビットキャスト放送」「文字放送」「ADAMS放送」などがあります。

●地上波データ放送とは

ふだん見慣れているテレビ放送は、テレビ放送局が電波を利用して映像と音声を送信していますが、この電波には、まだいくらかの情報をのせられる電波のすきまのようなものが残っています。そのすきまに文字や画像の情報をのせて、テレビ放送と一緒に電波で送信するのが「地上波データ放送」です。この文字や画像などのデータは、このパソコンで、それぞれ専用の受信ソフトを使って表示できます。
また、このパソコンでインターネットが利用できる状況であれば、受信した地上波データ放送から、そのままインターネット上の関連ホームページを表示させることもできます。

放送中の番組と連動して、野球中継を観戦しながら各選手の現在の成績を見たり、旅行番組で紹介された観光スポットの案内図をその場で入手したり、といった便利なサービスが現実のものとなります。

放送中のテレビ番組に関する情報だけでなく、ニュース、天気予報、株式市況、テレビ番組表などの情報も次々に送られてきます。

チェック!!

- 「地上波テレビ放送以外のテレビ放送（ケーブルテレビ会社のテレビ放送中継サービス）」では、地上波データ放送の対応を行っていない場合があり、受信できないことや、ソフトが正常に動作しなくなることがあります。ケーブルテレビをご利用の場合は、ADAMS 放送を受信できるかどうか、ご利用のケーブルテレビ会社にご確認ください。
- 同時に受信できる放送局は 1 局のみです。

放送内容は、テレビ局によって異なります。放送される番組などについては、各テレビ局にお問い合わせください。
このパソコンで利用できる地上波データ放送にはビットキャスト放送や文字放送、ADAMS 放送があります。

・ビットキャスト放送
　bitcast browser というアプリケーションで見ます。

・文字放送
　もじぞうというアプリケーションで見ます。

・ADAMS 放送
　ADAMS ナビというアプリケーションで見ます。

起動方法などについては、「ぱそガイド」をご覧ください。地上波データ放送の楽しみ方について詳しくは、各アプリケーションのヘルプをご覧ください。

チェック!!

- ADAMS 放送をご覧になるには、ADAMS 放送が放送されているチャンネルに合わせる必要があります。ADAMS 放送を受信できる放送局については、p.17をご覧ください。
- ADAMS 放送は、受信を始めてからすべてのデータがそろうまでに約 1 時間かかります。コンテンツの内容をご覧になるときは、起動してからしばらくお待ちください。

CATV 放送を見る

CATV ホームターミナルを利用して、SmartVision で
CATV 放送を見る場合は、この説明をご覧ください。

CATV ホームターミナルを接続する

S 映像用ケーブル（または映像用ケーブル）と音声用ケーブルを使って、
CATV ホームターミナルとパソコンを接続します。
接続のしかたについては、PART5の「ビデオデッキやアナログビデオカメラを接続する」（p.96）をご覧ください。

参照
使用するケーブルについて→
PART5 の「用意するもの」（p.96）

●接続するときの注意

- ケーブルを接続する前にパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源ケーブルを取り外してください。
- S 映像用ケーブルの場合は S 映像入力端子に、映像用ケーブルの場合は映像入力端子に接続してください。
- ホームターミナルの RCA 端子から接続する場合は、ステレオ RCA ピンプラグ→ステレオミニプラグの変換ケーブルまたはコネクタが必要になります。
- ホームターミナル側の詳しい接続については、CATV ホームターミナルに添付のマニュアルをご覧になるか、またはご加入の CATV 会社にお問い合わせください。

SmartVision で CATV 放送を見る

1 **CATV ホームターミナルの電源を入れる**

ホームターミナルに家庭用テレビが接続されている場合は、正しく映像が表示されているか確認してください。

2 **パソコンの電源を入れる**

3 SmartVision を起動する

4 「外部入力」タブをクリックする

SmartVision の画面に CATV の映像が表示されることを確認してください。

5 CATVのリモコンを使ってCATVホームターミナルのチャンネルを変更し、見たいチャンネルを表示する

- CATV 放送はビデオ入力と同じ扱いになります。SmartVision で CATV のチャンネルを変更することはできません。チャンネルを変更するときは、CATV ホームターミナルのチャンネルを変更してください。
- パソコン本体にアンテナ線を接続していない場合は、チャンネルとテレビ番組表の設定は必要ありません。また、オートスキャンをしてもチャンネルを設定することはできません。

索　引

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

録画した番組をパソコンで遊ぼう！

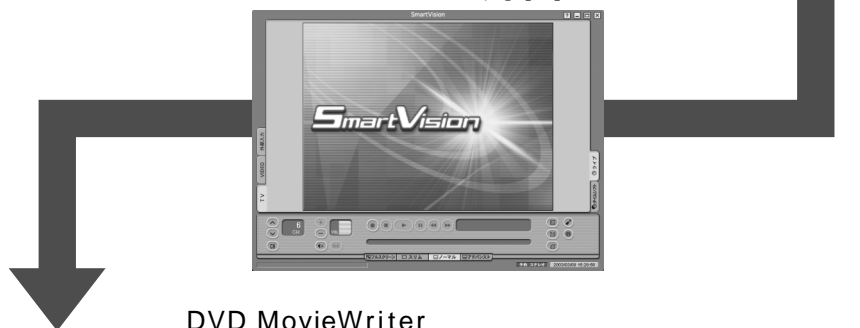
SmartVisionで録画した番組を、そのままの状態で置いておいたら、ハードディスクはすぐ一杯に。VideoStudioで編集したり、DVD MovieWriterでDVD-RやCD-Rに出力したりして効率良く管理しよう。テレビ＆ビデオデッキじゃできない「パソコンでテレビ」を楽しもう!

編集したり・・・

- お気に入りの場面の収集をしたり
- 動く文字で演出してみたり
- ナレーションを入れて盛り上げたり
- 映像を別の映像と合成したり
- 映画のような場面転換をしたりして
- それを様々なビデオフォーマットで出力できる

VideoStudio

ビデオ編集の楽しさを味わってください!

SmartVisionで録画して・・・

DVD MovieWriter

出力したDVDをDVDプレイヤーで再生!

DVDにしてみたり・・・

- 録画した番組のフォーマットを変換して
- お気に入り場面の収集をしたり
- DVD、VideoCDのオープニングメニュー画面を作ったりして
- DVDビデオをDVD-Rに出力したり、VideoCDをCD-Rに出力したりできる

TVモデルガイド

このマニュアルは再生紙
（古紙率：表紙50%、本文100%）
を使用しています。

初版　2003年5月
NEC
P
853-810601-107-A
Printed in Japan